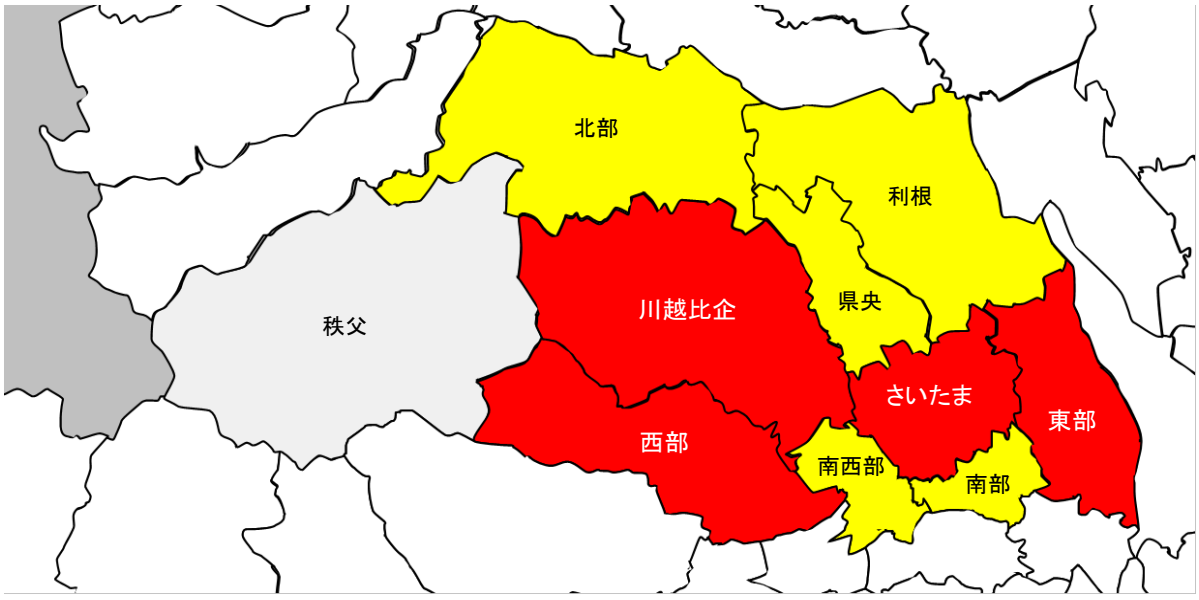
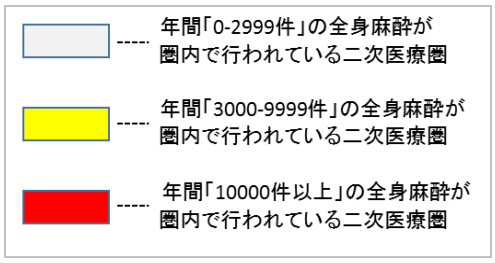
11. 埼玉県


北部
利根
秩父
川越比企
県央
さいたま
東部
西部
南西部
南部


年間「0-2999件」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏
年間「3000-9999件」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏
年間「10000件以上」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏

目次

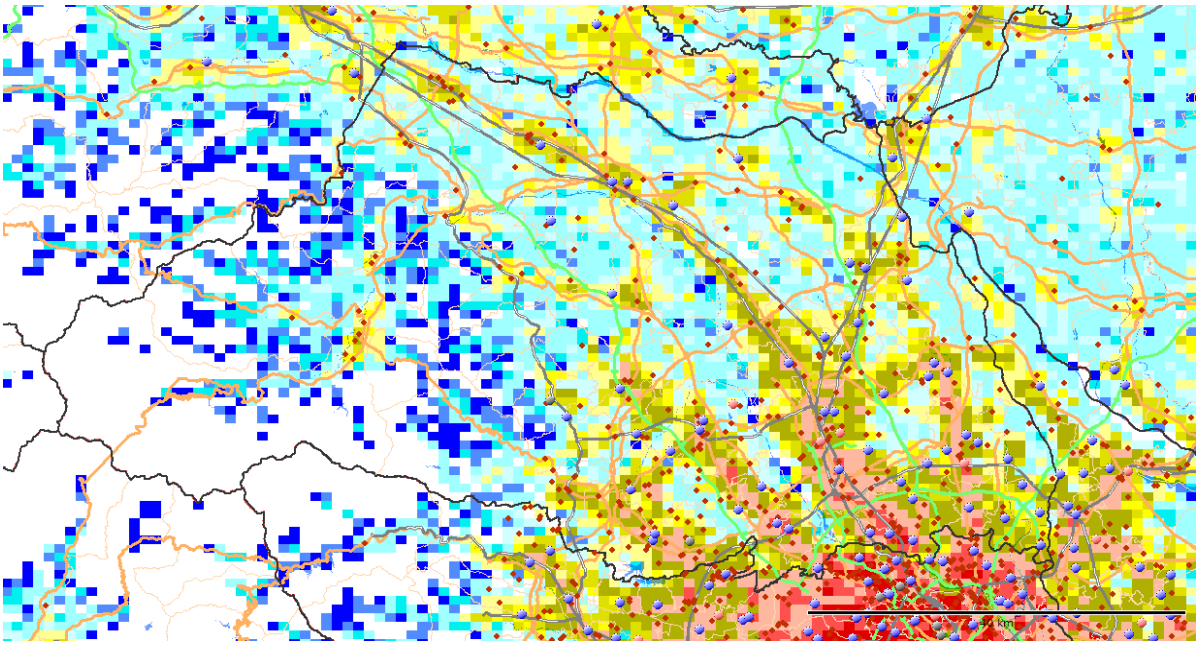
埼玉県　11 － 3

資料編　－　当県ならびに二次医療圏別資料 …… 11 － 8

1. 南部医療圏 …… 11 － 26
2. 南西部医療圏 …… 11 － 31
3. 東部医療圏 …… 11 － 36
4. さいたま医療圏 …… 11 － 41
5. 県央医療圏 …… 11 － 46
6. 川越比企医療圏 …… 11 － 51
7. 西部医療圏 …… 11 － 56
8. 利根医療圏 …… 11 － 61
9. 北部医療圏 …… 11 － 66
10. 秩父医療圏 …… 11 － 71

11. 埼玉県

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（埼玉県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 埼玉県は、総人口約7,267千人（2015年）、面積3,798㎢、人口密度は1,913人/㎢である。

＊人口の将来予測： 埼玉県の総人口は2025年に7,203千人へと減少し（2015年比－1％）、2040年に6,721千人へと減少する（2025年比－7％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の773千人が、2025年にかけて1,209千人へと増加し（2015年比＋56％）、2040年には1,246千人へと増加する（2025年比＋3％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 埼玉県の一人当たり医療費（国保）は318千円（偏差値43）、介護給付費は199千円（偏差値35）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 埼玉県の一人当たり急性期医療密度指数は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41（病院医師数42、診療所医師数41）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 埼玉県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、92,976人（75歳以上1,000人当たりの偏差値60）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が50,459床（偏差値53）、高齢者住宅等が42,517床（偏差値58）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、59,108人（75歳以上1,000人当たりの偏差値48）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム63、軽費ホーム49、グループホーム43、サ高住54である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員（在宅）の合計は、7,441人（75歳以上1,000人当たりの偏差値43）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－16％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2.　推移

【人口と医療需要】

埼玉県の総人口は、2005年7,054,243人が、2015年に7,266,534人と3%増加し、2025年の人口が7,202,953人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

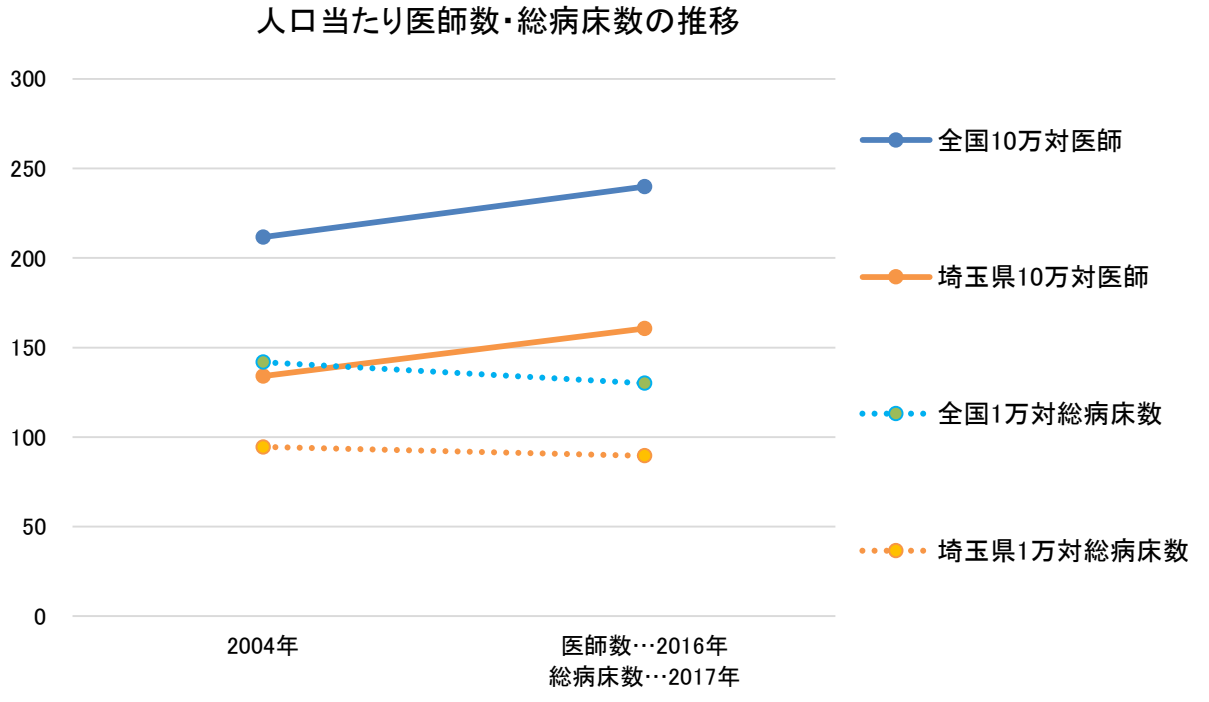
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が363（人口10万人当たり5.1病院（全国平均7.1）偏差値45）であったが、2017年に343（人口10万人当たり4.7病院（全国平均6.6）偏差値46）となり、13年間で20病院が減少した。

2004年の診療所数が3,738（人口10万人当たり53診療所（全国平均76）偏差値39）であったが、2017年に4,261（人口10万人当たり59診療所（全国平均80）偏差値39）と、523診療所が増加した。

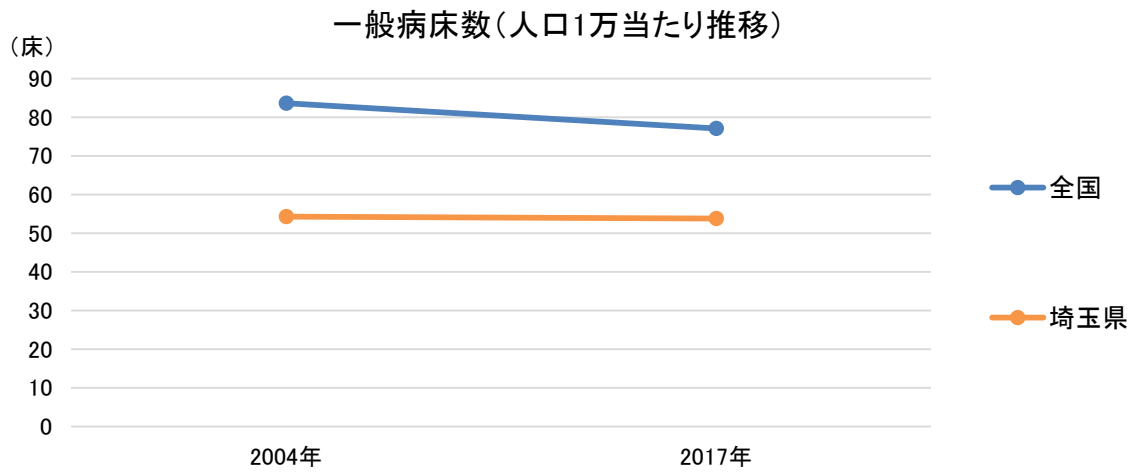
2004年の総病床数が66,638床（人口1万人当たり94（全国平均142）偏差値42）であったが、2017年に65,111床（人口1万人当たり90（全国平均130）偏差値42）と、1,527床の減少、率にして2%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が9,454人（人口10万人当たり134人（全国平均212人）偏差値41）であったが、2016年に11,667人（人口10万人当たり161人（全国平均240人）偏差値41）と、2,213人の増加、率にして23%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



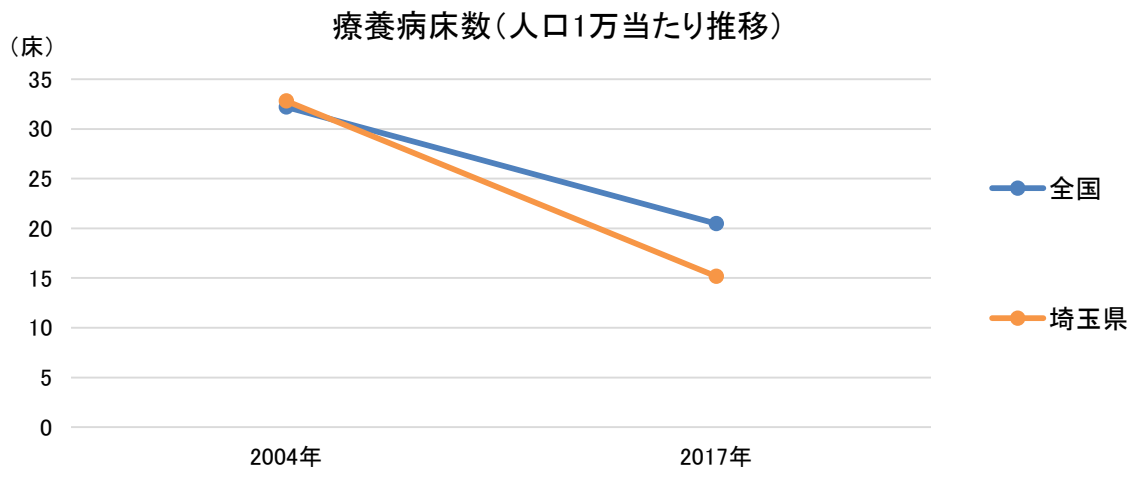
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が38,328床（人口1万人当たり54（全国平均84）偏差値40）であったが、2017年に39,073床（人口1万人当たり54（全国平均77）偏差値41）と、745床の増加、率にして2%の増加（全国平均8%の減少）が見られた。



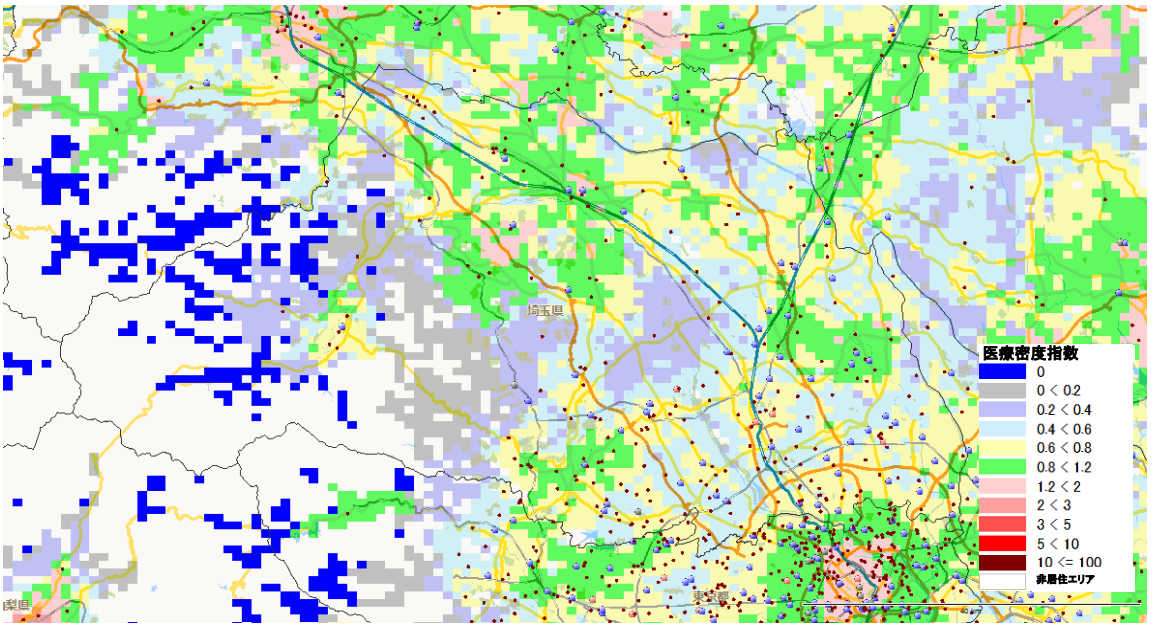
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が14,564床（75歳以上1,000人当たり33（全国平均32）偏差値50）であったが、2017年に11,737床（75歳以上1,000人当たり15（全国平均20）偏差値45）と、2827床の減少、率にして19%の減少（全国平均11%の減少）が見られた。



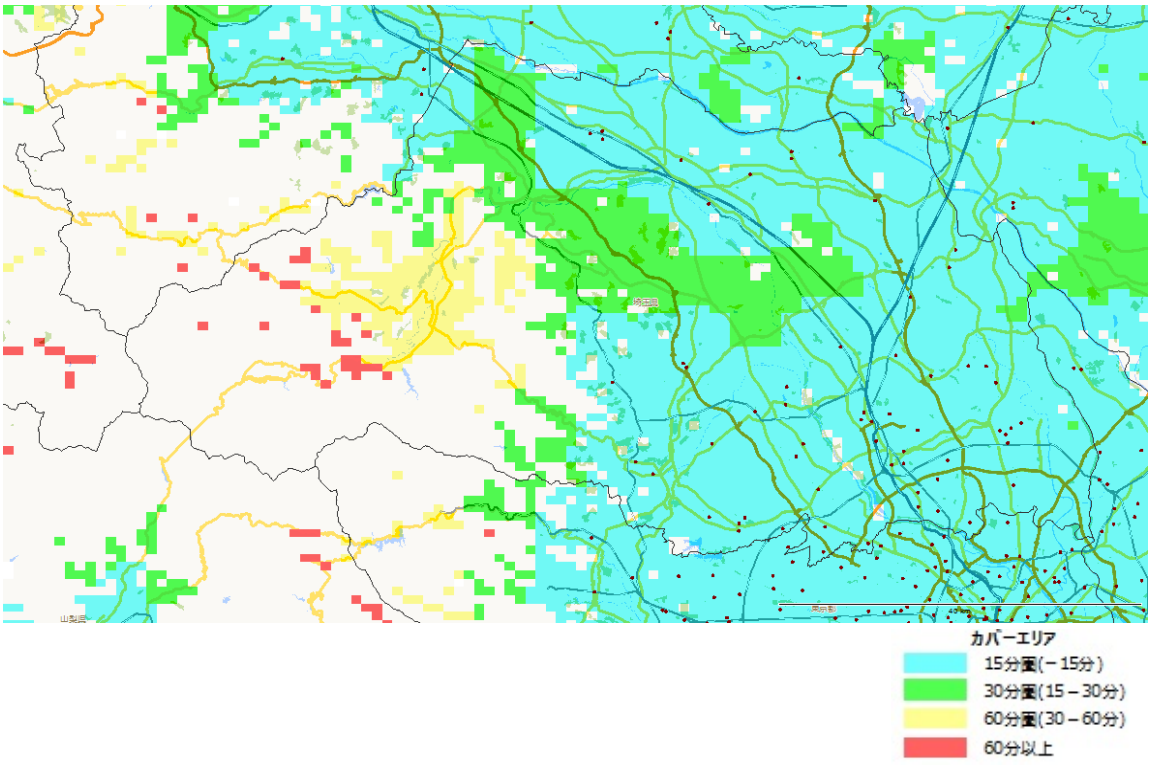
（埼玉県）　3.　医療密度・周産期カバーエリア

図表11-1　急性期医療密度指数マップ



図表11-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1㎢メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1㎢メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））



資料編　ー　当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 11-1　地理情報・人口動態

二次医療圏	人口（単位：千人）	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2025年総人口（単位：千人）	2040年総人口（単位：千人）	2015年75歳以上人口（単位：千人）	2025年75歳以上人口（単位：千人）	2040年75歳以上人口（単位：千人）	2015→25年総人口増減率	2025→40年総人口増減率	2015→25年75歳以上人口増減率	2025→40年75歳以上人口増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	−4%	−9%	34%	3%
埼玉県	7,267	5位	3,798	39位	1,913.4		25%	7,203	6,721	773	1,209	1,246	−1%	−7%	56%	3%
南部	787	11%	85	2%	9,226.1	大都市型	22%	817	821	75	110	116	4%	0%	47%	5%
南西部	709	10%	111	3%	6,394.3	大都市型	23%	725	712	70	108	110	2%	−2%	54%	2%
東部	1,140	16%	250	7%	4,566.4	大都市型	25%	1,141	1,073	113	191	183	0%	−6%	69%	−4%
さいたま	1,264	17%	217	6%	5,813.0	大都市型	23%	1,312	1,302	129	202	229	4%	−1%	57%	13%
県央	529	7%	173	5%	3,059.7	大都市型	26%	513	463	58	93	94	−3%	−10%	60%	1%
川越比企	800	11%	627	16%	1,276.9	地方都市型	26%	779	703	87	140	138	−3%	−10%	61%	−1%
西部	778	11%	406	11%	1,915.8	地方都市型	27%	744	651	88	146	153	−4%	−13%	66%	5%
利根	647	9%	474	12%	1,365.5	地方都市型	28%	606	514	75	116	116	−6%	−15%	55%	0%
北部	510	7%	562	15%	907.3	地方都市型	27%	479	415	61	86	90	−6%	−13%	41%	5%
秩父	102	1%	893	24%	113.9	過疎地域型	32%	87	67	17	18	18	−15%	−23%	6%	0%

出　典	＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年、2040年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成30年3月 ＜面積＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 11-2　一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり急性期医療密度指数	一人当たり慢性期医療密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年ベッド数	2025年目標ベッド数	2025年充足度指数（%）
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	−19.3%
埼玉県	0.68	0.67	82,439	95,768	−16.2%
南部	0.72	0.46	8,951	8,600	3.9%
南西部	0.64	0.65	7,070	8,829	−24.9%
東部	0.66	0.45	11,468	15,224	−32.8%
さいたま	0.65	0.48	17,234	15,512	10.0%
県央	0.59	0.51	5,591	7,321	−30.9%
川越比企	0.64	0.90	7,858	11,191	−42.4%
西部	0.74	1.42	8,333	11,554	−38.6%
利根	0.74	0.58	7,702	9,203	−19.5%
北部	0.77	0.77	6,526	6,835	−4.7%
秩父	0.43	0.81	1,706	1,498	12.2%

出　典	＜一人当たり急性期医療密度指数＞＜一人当たり慢性期医療密度指数＞その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 − 都道府県別・二次医療圏別データ集 −（2016年度版）序章【参考資料】参照（日医総研WP no.375）） ＜75歳以上介護充足度指数＞高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 11-3　国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費（国保のみ）（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	被保険者一人あたり介護給付費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
埼玉県	318	43	0.922	112	43	0.846	182	46	0.970	199	35
南部	287	36	0.924	102	40	0.859	163	35	0.969	218	40
南西部	305	40	0.916	114	44	0.892	168	38	0.926	188	31
東部	314	42	0.920	112	43	0.855	177	44	0.956	180	29
さいたま	319	44	0.929	106	41	0.800	188	50	1.008	228	43
県央	336	48	0.926	114	43	0.813	198	55	1.000	189	32
川越比企	327	46	0.920	117	44	0.853	187	49	0.966	182	30
西部	313	42	0.886	111	42	0.814	179	45	0.929	186	31
利根	343	49	0.941	124	47	0.880	195	54	0.983	192	33
北部	331	46	0.945	121	46	0.896	188	50	0.988	225	42
秩父	336	47	0.929	112	43	0.805	199	56	1.014	241	47

出　典	＜一人あたり医療費＞平成28年度医療費の地域差分析　厚生労働省 ＜一人あたり介護給付費＞平成29年度介護保険事業状況報告（年報）　平成29年度累計（平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで） ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。

資_図表 11-4　後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
埼玉県	831	43	0.935	390	43	0.902	407	45	0.964
南部	840	43	0.955	381	42	0.892	425	49	1.014
南西部	856	45	0.979	427	47	1.010	394	41	0.941
東部	820	42	0.927	369	41	0.872	414	47	0.972
さいたま	822	42	0.918	353	39	0.803	431	51	1.021
県央	808	41	0.908	358	40	0.831	414	47	0.976
川越比企	837	43	0.941	422	46	0.972	381	38	0.906
西部	850	44	0.959	433	47	0.999	382	39	0.912
利根	832	43	0.920	392	43	0.882	408	45	0.957
北部	843	44	0.919	401	44	0.881	414	47	0.966
秩父	757	36	0.827	365	40	0.793	367	35	0.869

出　典	＜一人あたり医療費＞平成28年度医療費の地域差分析　厚生労働省

資_図表 11-5　病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
埼玉県	343	4.1%	4.7	46	4,261	4.2%	59	39
南部	29	8%	3.7	44	445	10%	57	38
南西部	28	8%	3.9	44	359	8%	51	35
東部	51	15%	4.5	45	586	14%	51	35
さいたま	37	11%	2.9	42	918	22%	73	46
県央	18	5%	3.4	43	290	7%	55	37
川越比企	50	15%	6.2	49	458	11%	57	38
西部	55	16%	7.1	51	424	10%	54	37
利根	32	9%	4.9	46	339	8%	52	35
北部	34	10%	6.7	50	360	8%	71	45
秩父	9	3%	8.9	55	82	2%	81	50
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月			

資_図表 11-6　診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
埼玉県	4,261	4.2%	59	39	4,044	4.3%	56	40	217	3.0%	3.0	45
南部	445	10%	57	38	428	11%	54	39	17	8%	2.2	44
南西部	359	8%	51	35	343	8%	48	36	16	7%	2.3	44
東部	586	14%	51	35	552	14%	48	36	34	16%	3.0	45
さいたま	918	22%	73	46	884	22%	70	48	34	16%	2.7	45
県央	290	7%	55	37	271	7%	51	38	19	9%	3.6	47
川越比企	458	11%	57	38	433	11%	54	39	25	12%	3.1	46
西部	424	10%	54	37	401	10%	52	38	23	11%	3.0	45
利根	339	8%	52	35	318	8%	49	37	21	10%	3.2	46
北部	360	8%	71	45	338	8%	66	46	22	10%	4.3	48
秩父	82	2%	81	50	76	2%	75	50	6	3%	5.9	50
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月			

資_図表 11-7　病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院＋診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
埼玉県	62,346	4.0%	858	42	2,765	2.8%	38	46	65,111	3.9%	896	42
南部	5,191	8%	660	38	249	9%	32	45	5,440	8%	692	39
南西部	5,084	8%	717	39	178	6%	25	44	5,262	8%	742	40
東部	9,243	15%	811	41	392	14%	34	45	9,635	15%	845	42
さいたま	7,941	13%	628	38	376	14%	30	45	8,317	13%	658	38
県央	3,919	6%	741	40	283	10%	53	47	4,202	6%	794	41
川越比企	9,572	15%	1,196	49	304	11%	38	46	9,876	15%	1,234	49
西部	9,556	15%	1,228	50	303	11%	39	46	9,859	15%	1,267	49
利根	5,594	9%	864	43	319	12%	49	47	5,913	9%	914	43
北部	5,369	9%	1,053	46	285	10%	56	48	5,654	9%	1,109	46
秩父	877	1%	863	43	76	3%	75	50	953	1%	938	43
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 11-8　病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
埼玉県	36,359	4.1%	500	41	11,686	3.6%	161	45	14,097	4.2%	194	47
南部	3,337	9%	424	38	866	7%	110	43	988	7%	126	44
南西部	3,198	9%	451	39	780	7%	110	43	1,106	8%	156	45
東部	5,625	15%	493	41	1,561	13%	137	44	2,055	15%	180	46
さいたま	5,465	15%	432	38	1,315	11%	104	43	1,131	8%	89	42
県央	2,342	6%	443	38	826	7%	156	45	742	5%	140	44
川越比企	5,129	14%	641	47	1,879	16%	235	49	2,554	18%	319	53
西部	4,527	12%	582	45	2,548	22%	327	54	2,471	18%	317	53
利根	3,567	10%	551	43	634	5%	98	42	1,309	9%	202	47
北部	2,707	7%	531	42	985	8%	193	47	1,618	11%	317	53
秩父	462	1%	455	39	292	2%	287	52	123	1%	121	43
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月			

資_図表 11-9　回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
埼玉県	3,448	4.3%	47	47	1,620	2.2%	22	44
南部	262	8%	33	43	147	9%	19	44
南西部	270	8%	38	45	196	12%	28	45
東部	774	22%	68	51	186	11%	16	43
さいたま	381	11%	30	43	145	9%	11	43
県央	207	6%	39	45	20	1%	4	41
川越比企	560	16%	70	51	370	23%	46	48
西部	519	15%	67	51	199	12%	26	45
利根	337	10%	52	48	126	8%	19	44
北部	98	3%	19	40	182	11%	36	46
秩父	40	1%	39	45	49	3%	48	48
出　典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 11-10　公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
埼玉県	9,851	8,960	50	53,098	28,257	11,518	24.1%	42	0.4%	48
南部	1,093	1,093	0	4,099	2,245	866	32.7%	46	0.0%	48
南西部	550	550	0	4,948	2,997	845	15.5%	39	0.0%	48
東部	1,224	1,222	0	8,010	4,554	1,521	21.2%	41	0.0%	48
さいたま	2,079	2,043	0	5,859	3,481	1,247	37.0%	47	0.0%	48
県央	1,185	623	0	2,750	1,744	817	26.3%	43	0.0%	48
川越比企	416	362	0	9,149	4,764	1,875	7.1%	36	0.0%	48
西部	1,334	1,288	0	8,501	3,564	2,452	26.5%	43	0.0%	48
利根	861	777	0	4,645	2,747	665	22.0%	42	0.0%	48
北部	849	792	0	4,520	1,909	988	29.3%	44	0.0%	48
秩父	260	210	50	617	252	242	45.5%	50	17.1%	55
出　典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 11-11　全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
埼玉県	133,164	3.4%	1,833	45	51,240	5.5%	705	49
南部	8,868	7%	1,127	42	6,084	12%	774	52
南西部	7,548	6%	1,064	42	6,708	13%	946	58
東部	31,272	23%	2,742	49	9,444	18%	828	54
さいたま	38,784	29%	3,068	50	6,540	13%	517	42
県央	8,760	7%	1,656	44	2,880	6%	544	43
川越比企	14,172	11%	1,771	45	6,780	13%	847	55
西部	12,024	9%	1,545	44	4,800	9%	617	46
利根	6,648	5%	1,027	42	4,500	9%	695	49
北部	4,572	3%	896	41	3,108	6%	609	46
秩父	516	0%	508	40	396	1%	390	37
出　典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 11-12　医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
埼玉県	11,667	3.8%	161	41	7,346	3.6%	101	42	4,321	4.2%	59	41
南部	1,113	10%	142	39	691	9%	88	40	422	10%	54	38
南西部	889	8%	125	37	501	7%	71	38	388	9%	55	39
東部	1,714	15%	150	40	1,139	16%	100	42	575	13%	50	37
さいたま	2,203	19%	174	43	1,223	17%	97	41	980	23%	78	49
県央	822	7%	155	41	521	7%	98	42	301	7%	57	40
川越比企	1,737	15%	217	47	1,283	17%	160	50	454	11%	57	40
西部	1,568	13%	201	46	1,143	16%	147	48	425	10%	55	39
利根	769	7%	119	37	422	6%	65	37	347	8%	54	38
北部	709	6%	139	39	363	5%	71	38	346	8%	68	45
秩父	143	1%	141	39	60	1%	59	36	83	2%	82	50
出　典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成28年12月			

資_図表 11-13　専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
埼玉県	925	4.1%	12.7	45	579	4.3%	8.0	44	473	4.2%	6.5	44
南部	81	9%	10.3	42	68	12%	8.6	46	47	10%	6.0	43
南西部	64	7%	9.0	41	52	9%	7.3	43	38	8%	5.4	41
東部	138	15%	12.1	44	68	12%	6.0	40	72	15%	6.3	44
さいたま	203	22%	16.1	48	152	26%	12.0	53	79	17%	6.3	44
県央	59	6%	11.2	43	22	4%	4.2	36	24	5%	4.5	39
川越比企	148	16%	18.5	51	107	18%	13.4	56	91	19%	11.4	56
西部	109	12%	14.0	46	48	8%	6.2	41	57	12%	7.3	46
利根	58	6%	9.0	40	35	6%	5.4	39	31	7%	4.8	40
北部	56	6%	11.0	43	23	4%	4.5	37	30	6%	5.9	43
秩父	9	1%	8.9	40	4	1%	3.9	36	4	1%	3.9	38

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-14　専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
埼玉県	241	4.3%	3.3	45	418	4.3%	5.8	44	306	4.0%	4.2	43
南部	28	12%	3.6	46	34	8%	4.3	40	22	7%	2.8	38
南西部	22	9%	3.1	44	40	10%	5.6	44	29	9%	4.1	43
東部	41	17%	3.6	46	56	13%	4.9	41	40	13%	3.5	40
さいたま	49	20%	3.9	48	99	24%	7.8	50	57	19%	4.5	44
県央	12	5%	2.3	40	30	7%	5.7	44	33	11%	6.2	51
川越比企	31	13%	3.9	48	48	11%	6.0	45	41	13%	5.1	47
西部	31	13%	4.0	48	50	12%	6.4	46	42	14%	5.4	48
利根	18	7%	2.8	42	34	8%	5.3	42	22	7%	3.4	40
北部	8	3%	1.6	37	21	5%	4.1	39	15	5%	2.9	38
秩父	1	0%	1.0	34	6	1%	5.9	44	5	2%	4.9	46

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-15　専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	整形外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
埼玉県	349	3.8%	4.8	43	849	4.0%	11.7	43	601	3.7%	8.3	40
南部	24	7%	3.1	38	73	9%	9.3	40	62	10%	7.9	39
南西部	29	8%	4.1	41	71	8%	10.0	41	38	6%	5.4	34
東部	40	11%	3.5	39	124	15%	10.9	42	90	15%	7.9	39
さいたま	62	18%	4.9	43	152	18%	12.0	43	90	15%	7.1	37
県央	31	9%	5.9	46	82	10%	15.5	48	50	8%	9.5	42
川越比企	53	15%	6.6	48	110	13%	13.7	46	99	16%	12.4	49
西部	53	15%	6.8	49	118	14%	15.2	48	75	12%	9.6	43
利根	19	5%	2.9	38	52	6%	8.0	38	50	8%	7.7	39
北部	34	10%	6.7	48	58	7%	11.4	43	39	6%	7.6	39
秩父	4	1%	3.9	40	9	1%	8.9	39	8	1%	7.9	39

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-16　専門医数（泌尿器科、脳神経外科、放射線科）

二次医療圏	泌尿器科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	脳神経外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	放射線科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
埼玉県	234	3.9%	3.2	43	269	4.0%	3.7	43	178	3.1%	2.4	43
南部	15	6%	1.9	37	19	7%	2.4	38	16	9%	2.0	42
南西部	21	9%	3.0	42	19	7%	2.7	39	11	6%	1.6	40
東部	41	18%	3.6	45	43	16%	3.8	43	13	7%	1.1	39
さいたま	38	16%	3.0	42	39	14%	3.1	41	42	24%	3.3	46
県央	21	9%	4.0	46	17	6%	3.2	41	19	11%	3.6	47
川越比企	30	13%	3.7	45	32	12%	4.0	44	25	14%	3.1	46
西部	31	13%	4.0	46	51	19%	6.6	55	36	20%	4.6	50
利根	21	9%	3.2	43	18	7%	2.8	39	7	4%	1.1	39
北部	13	6%	2.5	40	28	10%	5.5	51	9	5%	1.8	41
秩父	3	1%	3.0	42	3	1%	3.0	40	0	0%	0	35

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-17　専門医数（麻酔科、病理、救急科）

二次医療圏	麻酔科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病理専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	救急科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
埼玉県	283	4.0%	3.9	45	62	3.9%	0.9	46	152	4.0%	2.1	45
南部	29	10%	3.7	44	6	10%	0.8	45	16	11%	2.0	45
南西部	34	12%	4.8	48	1	2%	0.1	39	10	7%	1.4	42
東部	40	14%	3.5	44	15	24%	1.3	51	26	17%	2.3	46
さいたま	54	19%	4.3	46	7	11%	0.6	43	35	23%	2.8	49
県央	20	7%	3.8	44	5	8%	0.9	47	7	5%	1.3	41
川越比企	44	16%	5.5	50	8	13%	1.0	47	20	13%	2.5	47
西部	28	10%	3.6	44	15	24%	1.9	57	24	16%	3.1	51
利根	17	6%	2.6	41	3	5%	0.5	42	8	5%	1.2	41
北部	15	5%	2.9	42	2	3%	0.4	41	5	3%	1.0	40
秩父	2	1%	2.0	39	0	0%	0	37	1	1%	1.0	40

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-18　専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
埼玉県	93	4.3%	1.3	47	74	2.9%	1.0	43
南部	8	9%	1.0	45	9	12%	1.1	44
南西部	5	5%	0.7	42	4	5%	0.6	40
東部	9	10%	0.8	43	11	15%	1.0	43
さいたま	19	20%	1.5	49	7	9%	0.6	40
県央	8	9%	1.5	49	6	8%	1.1	44
川越比企	21	23%	2.6	57	17	23%	2.1	51
西部	14	15%	1.8	51	14	19%	1.8	49
利根	5	5%	0.8	43	4	5%	0.6	40
北部	3	3%	0.6	41	2	3%	0.4	39
秩父	1	1%	1.0	44	0	0%	0	36

出　典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-19　看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
埼玉県	45,170	3.9%	622	40	36,673	4.0%	505	41	8,497	3.8%	117	41
南部	3,939	9%	501	36	3,186	9%	405	37	753	9%	96	38
南西部	3,674	8%	518	37	3,025	8%	426	38	648	8%	91	38
東部	6,347	14%	557	38	5,217	14%	458	39	1,130	13%	99	39
さいたま	7,688	17%	608	40	5,939	16%	470	40	1,748	21%	138	44
県央	3,483	8%	658	42	2,753	8%	520	42	730	9%	138	44
川越比企	6,270	14%	784	46	5,290	14%	661	47	980	12%	123	42
西部	5,767	13%	741	44	4,932	13%	634	46	835	10%	107	40
利根	3,989	9%	616	40	3,195	9%	494	41	794	9%	123	42
北部	3,507	8%	688	43	2,773	8%	544	43	735	9%	144	45
秩父	508	1%	500	36	364	1%	358	35	144	2%	142	45
出　典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月			

資_図表 11-20　総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
埼玉県	6,024	4.3%	83	45	15,100	5.0%	208	47
南部	479	8%	61	41	1,283	8%	163	42
南西部	553	9%	78	44	1,258	8%	177	44
東部	1,132	19%	99	48	2,124	14%	186	45
さいたま	611	10%	48	39	3,606	24%	285	55
県央	419	7%	79	45	1,103	7%	208	47
川越比企	865	14%	108	50	1,926	13%	241	50
西部	969	16%	124	53	1,489	10%	191	45
利根	582	10%	90	47	1,161	8%	179	44
北部	339	6%	66	42	1,018	7%	200	46
秩父	76	1%	75	44	132	1%	130	39
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成28年12月			

資_図表 11-21　在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
埼玉県	467	3.3%	0.6	44	46	3.3%	0.1	46	385	3.5%	0.5	42
南部	45	10%	0.6	44	6	13%	0.1	49	37	10%	0.5	42
南西部	28	6%	0.4	39	5	11%	0.1	48	37	10%	0.5	43
東部	59	13%	0.5	42	6	13%	0.1	45	57	15%	0.5	42
さいたま	145	31%	1.1	56	4	9%	0.0	42	64	17%	0.5	42
県央	37	8%	0.6	45	3	7%	0.1	45	23	6%	0.4	37
川越比企	44	9%	0.5	42	6	13%	0.1	48	45	12%	0.5	43
西部	44	9%	0.5	41	6	13%	0.1	48	49	13%	0.6	45
利根	32	7%	0.4	40	3	7%	0.0	44	36	9%	0.5	41
北部	31	7%	0.5	42	6	13%	0.1	52	30	8%	0.5	42
秩父	2	0%	0.1	33	1	2%	0.1	46	7	2%	0.4	38
出　典	届出受理医療機関名簿　地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿　地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省　平成30年6月			

資_図表 11-22　総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員（病床）数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員（病床）数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
埼玉県	92,976	5.5%	120	60	50,459	5.0%	65	53	42,517	6.1%	55	58
南部	10,172	11%	136	69	4,580	9%	61	50	5,592	13%	75	71
南西部	8,250	9%	118	59	4,392	9%	63	51	3,858	9%	55	58
東部	12,804	14%	113	56	6,203	12%	55	45	6,601	16%	58	60
さいたま	18,934	20%	147	76	8,803	17%	68	56	10,131	24%	79	73
県央	6,397	7%	111	54	4,348	9%	75	61	2,049	5%	36	46
川越比企	8,872	10%	102	49	5,132	10%	59	48	3,740	9%	43	50
西部	9,259	10%	105	51	5,806	12%	66	54	3,453	8%	39	48
利根	8,348	9%	111	54	5,459	11%	73	59	2,889	7%	38	47
北部	8,124	9%	132	67	4,430	9%	72	59	3,694	9%	60	61
秩父	1,816	2%	107	52	1,306	3%	77	63	510	1%	30	42
出　典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 11-23　老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
埼玉県	16,630	4.5%	22	48	32,369	5.6%	42	57	1,460	2.4%	1.9	46
南部	1,201	7%	16	39	3,180	10%	43	57	199	14%	2.7	48
南西部	1,822	11%	26	56	2,498	8%	36	51	72	5%	1.0	43
東部	2,149	13%	19	44	3,771	12%	33	48	283	19%	2.5	47
さいたま	2,892	17%	22	50	5,655	17%	44	59	256	18%	2.0	46
県央	1,644	10%	29	60	2,704	8%	47	62	0	0%	0	41
川越比企	1,641	10%	19	44	3,430	11%	39	54	61	4%	0.7	43
西部	1,936	12%	22	49	3,336	10%	38	53	534	37%	6.1	56
利根	1,524	9%	20	46	3,935	12%	52	67	0	0%	0	41
北部	1,440	9%	23	52	2,955	9%	48	63	35	2%	0.6	42
秩父	381	2%	22	50	905	3%	53	68	20	1%	1.2	44

出　典	平成30年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 11-24　有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
埼玉県	21,976	9.3%	28.4	63	951	4.1%	1.2	49	6,549	3.3%	8.5	43
南部	3,578	16%	47.9	81	0	0%	0	43	731	11%	9.8	46
南西部	1,794	8%	25.7	60	59	6%	0.8	47	600	9%	8.6	44
東部	3,648	17%	32.3	66	50	5%	0.4	45	942	14%	8.3	43
さいたま	6,735	31%	52.2	85	124	13%	1.0	48	853	13%	6.6	40
県央	769	3%	13.3	49	0	0%	0	43	474	7%	8.2	43
川越比企	1,449	7%	16.6	52	50	5%	0.6	46	855	13%	9.8	46
西部	1,691	8%	19.2	54	149	16%	1.7	51	434	7%	4.9	37
利根	1,212	6%	16.1	51	150	16%	2.0	53	683	10%	9.1	44
北部	930	4%	15.2	51	319	34%	5.2	68	797	12%	13.0	51
秩父	170	1%	10.0	46	50	5%	3.0	57	180	3%	10.6	47

出　典	平成30年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 11-25　サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（非特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
埼玉県	13,041	5.6%	16.9	54	2,504	11.3%	3.2	60	10,537	5.0%	13.6	51
南部	1,283	10%	17.2	54	62	2%	0.8	47	1,221	12%	16.4	55
南西部	1,405	11%	20.1	58	225	9%	3.2	60	1,180	11%	16.9	56
東部	1,961	15%	17.4	55	625	25%	5.5	73	1,336	13%	11.8	48
さいたま	2,419	19%	18.8	57	719	29%	5.6	73	1,700	16%	13.2	50
県央	806	6%	14.0	50	0	0%	0	43	806	8%	14.0	52
川越比企	1,386	11%	15.9	52	372	15%	4.3	66	1,014	10%	11.6	48
西部	1,179	9%	13.4	49	253	10%	2.9	58	926	9%	10.5	47
利根	844	6%	11.2	46	198	8%	2.6	57	646	6%	8.6	44
北部	1,648	13%	26.9	68	50	2%	0.8	47	1,598	15%	26.1	70
秩父	110	1%	6.5	39	0	0%	0	43	110	1%	6.5	41
出　典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月　国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月　国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 11-26　介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
埼玉県	7,300	4.2%	9.4	45	5,303	4.4%	6.9	47	1,997	3.9%	2.6	45
南部	770	11%	10.3	49	563	11%	7.5	51	207	10%	2.8	46
南西部	619	8%	8.9	43	453	9%	6.5	46	166	8%	2.4	43
東部	1,055	14%	9.3	45	752	14%	6.7	46	303	15%	2.7	45
さいたま	1,436	20%	11.1	53	1,065	20%	8.3	55	371	19%	2.9	47
県央	475	7%	8.2	40	360	7%	6.2	44	116	6%	2.0	39
川越比企	756	10%	8.7	42	503	9%	5.8	42	253	13%	2.9	48
西部	860	12%	9.8	47	622	12%	7.1	48	238	12%	2.7	46
利根	630	9%	8.4	41	455	9%	6.1	43	175	9%	2.3	42
北部	543	7%	8.9	43	402	8%	6.5	46	141	7%	2.3	42
秩父	155	2%	9.1	44	128	2%	7.6	51	26	1%	1.6	35
出　典	平成30年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-27　介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（介護施設等）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（在宅）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
埼玉県	66,550	4.4%	86	45	59,108	4.6%	76	48	7,441	3.4%	9.6	43
南部	7,173	11%	96	53	6,141	10%	82	53	1,032	14%	13.8	50
南西部	5,555	8%	80	40	4,964	8%	71	43	591	8%	8.5	41
東部	9,051	14%	80	40	7,880	13%	70	42	1,171	16%	10.4	44
さいたま	12,106	18%	94	51	10,634	18%	82	53	1,472	20%	11.4	46
県央	4,768	7%	83	42	4,350	7%	75	47	418	6%	7.2	39
川越比企	6,672	10%	76	37	5,891	10%	68	40	781	10%	8.9	42
西部	6,871	10%	78	38	6,162	10%	70	42	709	10%	8.0	40
利根	6,654	10%	89	47	6,058	10%	81	52	596	8%	7.9	40
北部	6,053	9%	99	55	5,506	9%	90	60	547	7%	8.9	42
秩父	1,646	2%	97	54	1,522	3%	90	60	124	2%	7.3	39

出　典	平成30年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 11-28　在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
埼玉県	55,007	4.5%	71	49	19,092	3.7%	25	45	43,476	3.6%	56	43
南部	9,300	17%	125	64	2,299	12%	31	50	5,844	13%	78	51
南西部	5,912	11%	85	53	1,549	8%	22	43	3,561	8%	51	41
東部	8,699	16%	77	50	2,971	16%	26	46	7,414	17%	66	47
さいたま	10,736	20%	83	52	3,988	21%	31	50	8,084	19%	63	45
県央	3,281	6%	57	45	924	5%	16	38	2,506	6%	43	38
川越比企	5,974	11%	68	48	2,184	11%	25	45	4,447	10%	51	41
西部	5,036	9%	57	45	2,261	12%	26	46	4,341	10%	49	40
利根	2,224	4%	30	37	1,620	8%	22	43	3,295	8%	44	38
北部	3,433	6%	56	45	988	5%	16	38	3,032	7%	49	40
秩父	412	1%	24	36	308	2%	18	40	952	2%	56	43

出　典	平成30年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 11-29　総人口の推移と医療需要の増減（医療費ベース）

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移（医療費ベース）(2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→15年増減率	2025年（推計）	2005→25年増減率	2005→15年増減率	2015→25年増減率	2005→25年増減率
全国		127,767,994	127,094,745	−1%	122,544,102	−4%	13%	5%	18%
埼玉県		7,054,243	7,266,534	3%	7,202,953	2%	21%	10%	33%
南部	大都市型	725,140	786,522	8%	816,790	13%	24%	10%	36%
南西部	大都市型	665,592	709,451	7%	724,586	9%	25%	10%	38%
東部	大都市型	1,085,540	1,140,278	5%	1,141,101	5%	27%	11%	41%
さいたま	大都市型	1,176,314	1,263,979	7%	1,312,452	12%	24%	14%	41%
県央	大都市型	520,164	529,055	2%	512,725	−1%	22%	10%	34%
川越比企	地方都市型	794,810	800,002	1%	778,717	−2%	20%	10%	31%
西部	地方都市型	781,229	778,416	0%	743,895	−5%	19%	10%	32%
利根	地方都市型	662,824	647,166	−2%	606,020	−9%	16%	7%	24%
北部	地方都市型	528,034	510,017	−3%	479,279	−9%	11%	5%	17%
秩父	過疎地域型	114,596	101,648	−11%	87,388	−24%	0%	−5%	−6%

出　典	
	＜人口(2005年)＞平成17年国勢調査　都道府県・市区町村別統計表（男女別人口,年齢（３区分）・割合,就業者数,昼間人口など） ＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成30年3月 ※医療需要は（0～64歳人口）＋（65～74歳人口）×3.0＋（75歳以上人口）×4.9で算出。

資_図表 11-30　病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	−665	−7%
埼玉県	363	5.1	45	343	4.7	46	−20	−6%
南部	31	4.3	43	29	3.7	44	−2	−6%
南西部	32	4.8	44	28	3.9	44	−4	−13%
東部	50	4.6	44	51	4.5	45	1	2%
さいたま	43	3.7	41	37	2.9	42	−6	−14%
県央	21	4.0	42	18	3.4	43	−3	−14%
川越比企	51	6.4	48	50	6.2	49	−1	−2%
西部	56	7.2	50	55	7.1	51	−1	−2%
利根	34	5.1	45	32	4.9	46	−2	−6%
北部	35	6.6	49	34	6.7	50	−1	−3%
秩父	10	8.7	54	9	8.9	55	−1	−10%

出　典	
	＜病院数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜病院数2017年＞平成29年医療施設（静態・動態）調査　厚生労働省　平成29年10月

資_図表 11-31　診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
埼玉県	3,738	53	39	4,261	59	39	523	14%
南部	347	48	36	445	57	38	98	28%
南西部	310	47	35	359	51	35	49	16%
東部	479	44	34	586	51	35	107	22%
さいたま	753	64	44	918	73	46	165	22%
県央	259	50	37	290	55	37	31	12%
川越比企	439	55	40	458	57	38	19	4%
西部	401	51	38	424	54	37	23	6%
利根	318	48	36	339	52	35	21	7%
北部	345	65	45	360	71	45	15	4%
秩父	87	76	50	82	81	50	−5	−6%

出　典	＜診療所数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜診療所数2017年＞平成29年医療施設（静態・動態）調査　厚生労働省　平成29年10月

資_図表 11-32　医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
埼玉県	9,454	134	41	11,667	161	41	2,213	23%
南部	903	125	40	1,113	142	39	210	23%
南西部	632	95	36	889	125	37	257	41%
東部	1,263	116	39	1,714	150	40	451	36%
さいたま	1,675	142	42	2,203	174	43	528	32%
県央	611	117	39	822	155	41	211	35%
川越比企	1,707	215	50	1,737	217	47	30	2%
西部	1,174	150	43	1,568	201	46	394	34%
利根	664	100	37	769	119	37	105	16%
北部	671	127	40	709	139	39	38	6%
秩父	154	134	41	143	141	39	−11	−7%

出　典	＜総医師数2004年＞平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成16年12月 ＜総医師数2016年＞平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成28年12月

資_図表 11-33　総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	−159,320	−9%
埼玉県	66,638	94	42	65,111	90	42	−1,527	−2%
南部	5,451	75	38	5,440	69	39	−11	0%
南西部	5,485	82	39	5,262	74	40	−223	−4%
東部	10,023	92	41	9,635	84	42	−388	−4%
さいたま	8,585	73	38	8,317	66	38	−268	−3%
県央	4,455	86	40	4,202	79	41	−253	−6%
川越比企	10,667	134	49	9,876	123	49	−791	−7%
西部	9,188	118	46	9,859	127	49	671	7%
利根	5,870	89	40	5,913	91	43	43	1%
北部	5,833	110	44	5,654	111	46	−179	−3%
秩父	1,081	94	42	953	94	43	−128	−12%

出　典	＜総病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜総病床数2017年＞平成29年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成29年10月

資_図表 11-34　一般病床数(病院＋診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	−88,670	−8%
埼玉県	38,328	54	40	39,073	54	41	745	2%
南部	3,482	48	37	3,567	45	38	85	2%
南西部	2,820	42	35	3,376	48	39	556	20%
東部	6,210	57	41	6,017	53	41	−193	−3%
さいたま	5,589	48	37	5,824	46	38	235	4%
県央	3,143	60	42	2,625	50	39	−518	−16%
川越比企	5,590	70	45	5,433	68	46	−157	−3%
西部	4,252	54	40	4,830	62	44	578	14%
利根	3,653	55	40	3,882	60	43	229	6%
北部	3,038	58	41	2,981	58	43	−57	−2%
秩父	551	48	37	538	53	41	−13	−2%

出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2017年＞平成29年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成29年10月

資_図表 11-35　療養病床数(病院＋診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	−39,526	−11%
埼玉県	14,564	33	50	11,737	15	45	−2,827	−19%
南部	1,169	29	48	885	12	42	−284	−24%
南西部	1,522	45	57	780	11	42	−742	−49%
東部	2,015	38	53	1,561	14	44	−454	−23%
さいたま	1,701	23	45	1,332	10	41	−369	−22%
県央	633	21	44	826	14	45	193	30%
川越比企	2,069	39	54	1,879	22	51	−190	−9%
西部	3,107	60	66	2,548	29	57	−559	−18%
利根	742	15	40	638	8	39	−104	−14%
北部	1,256	28	48	996	16	46	−260	−21%
秩父	350	25	46	292	17	47	−58	−17%

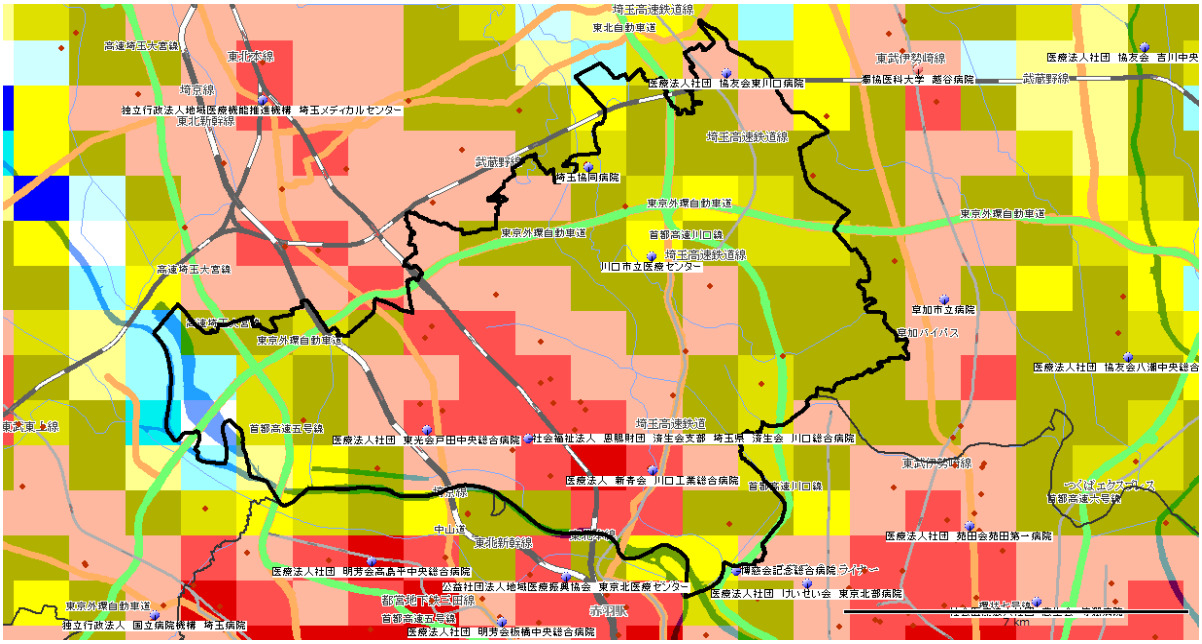
出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2017年＞平成29年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成29年10月

11-1. 南部（なんぶ）医療圏

構成市区町村　川口市　　蕨市　　戸田市

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（南部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 南部（川口市）は、総人口約787千人（2015年）、面積85㎢、人口密度は9,226人/㎢の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に817千人へと増加し（2015年比＋4％）、2040年に821千人とほぼ変わらない（2025年比±0％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の75千人が、2025年にかけて110千人へと増加し（2015年比＋47％）、2040年には116千人へと増加する（2025年比＋5％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費（国保）は287千円（偏差値36）、介護給付費は218千円（偏差値40）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数は0.46で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39（病院医師数40、診療所医師数38）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の戸田中央総合病院（Ⅲ群）、川口市立医療センター（Ⅲ群・救命）、済生会川口総合病院（Ⅲ群）、1000例以上の埼玉協同病院（Ⅲ群）、500例以上の川口工業総合病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、10,172人（75歳以上1,000人当たりの偏差値69）と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,580床（偏差値50）、高齢者住宅等が5,592床（偏差値71）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、6,141人（75歳以上1,000人当たりの偏差値53）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム81、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム46、サ高住54である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1,032人（75歳以上1,000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は＋4％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

（南部医療圏）　2.　推移

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年725,140人が、2015年に786,522人と8%増加し、2025年の人口が816,790人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に24%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

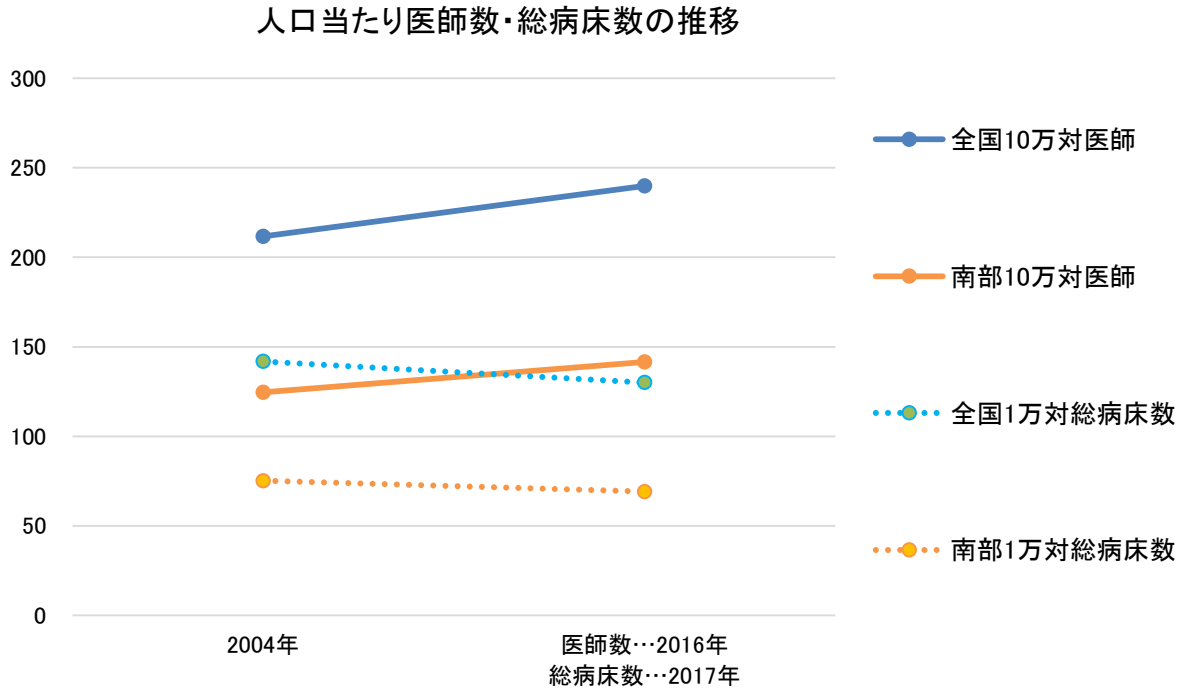
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が31（人口10万人当たり4.3病院（全国平均7.1）偏差値43）であったが、2017年に29（人口10万人当たり3.7病院（全国平均6.6）偏差値44）となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が347（人口10万人当たり48診療所（全国平均76）偏差値36）であったが、2017年に445（人口10万人当たり57診療所（全国平均80）偏差値38）と、98診療所が増加した。

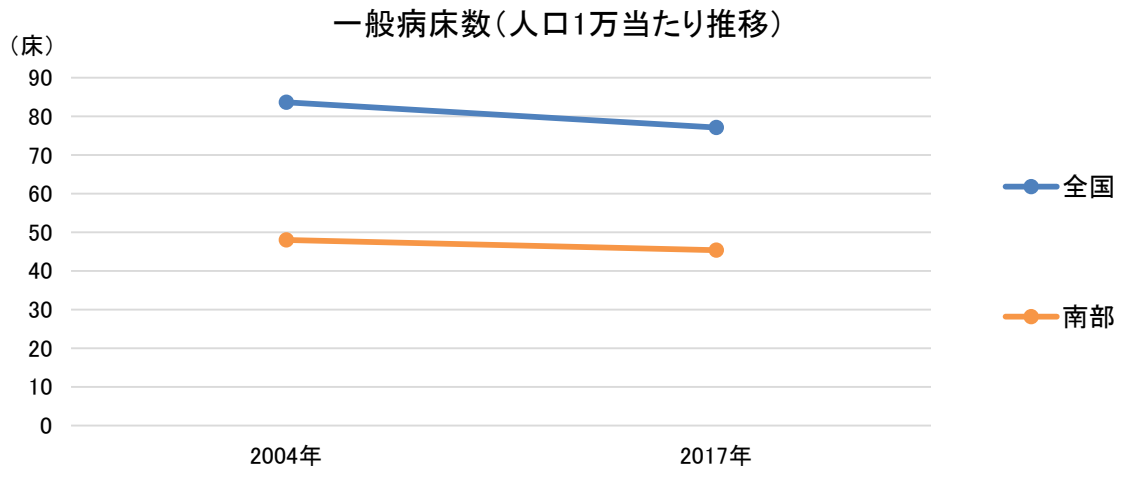
2004年の総病床数が5,451床（人口1万人当たり75（全国平均142）偏差値38）であったが、2017年に5,440床（人口1万人当たり69（全国平均130）偏差値39）と、11床の減少、率にして1%未満の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が903人（人口10万人当たり125人（全国平均212人）偏差値40）であったが、2016年に1,113人（人口10万人当たり142人（全国平均240人）偏差値39）と、210人の増加、率にして23%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



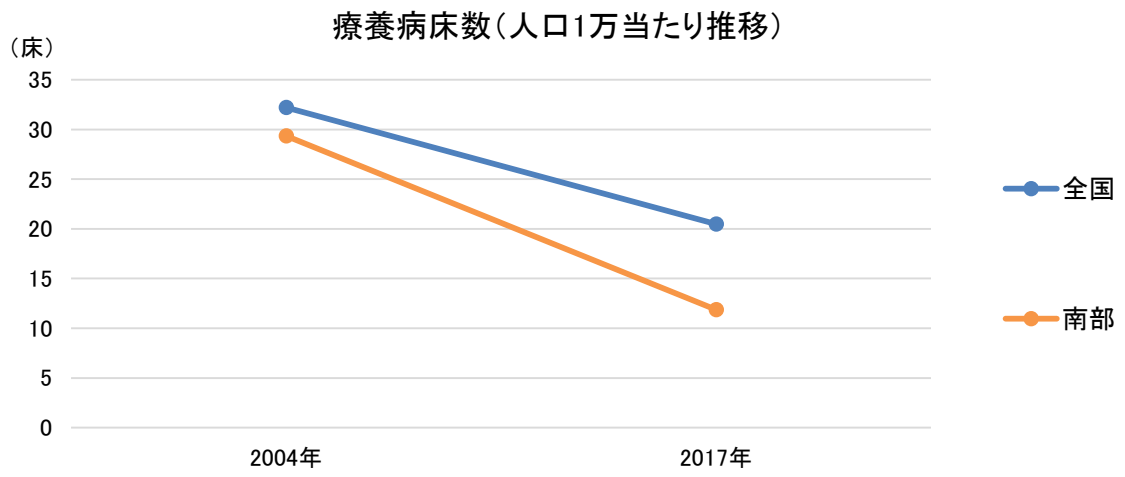
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が3,482床（人口1万人当たり48（全国平均84）偏差値37）であったが、2017年に3,567床（人口1万人当たり45（全国平均77）偏差値38）と、85床の増加、率にして2%の増加（全国平均8%の減少）が見られた。



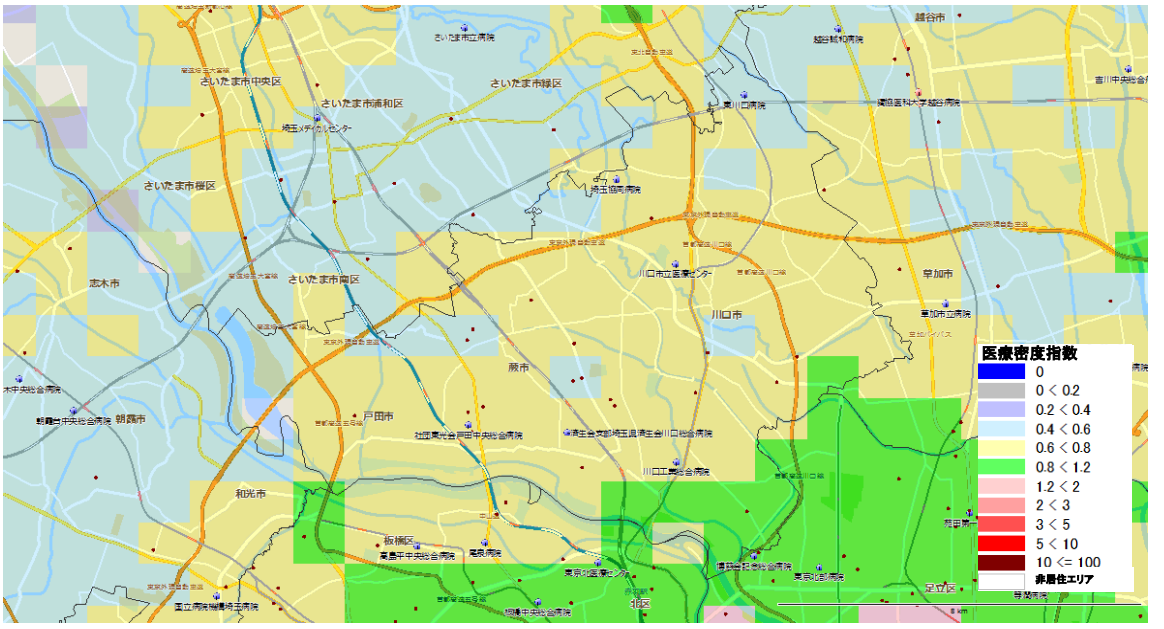
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が1,169床（75歳以上1,000人当たり29（全国平均32）偏差値48）であったが、2017年に885床（75歳以上1,000人当たり12（全国平均20）偏差値42）と、284床の減少、率にして24%の減少（全国平均11%の減少）が見られた。



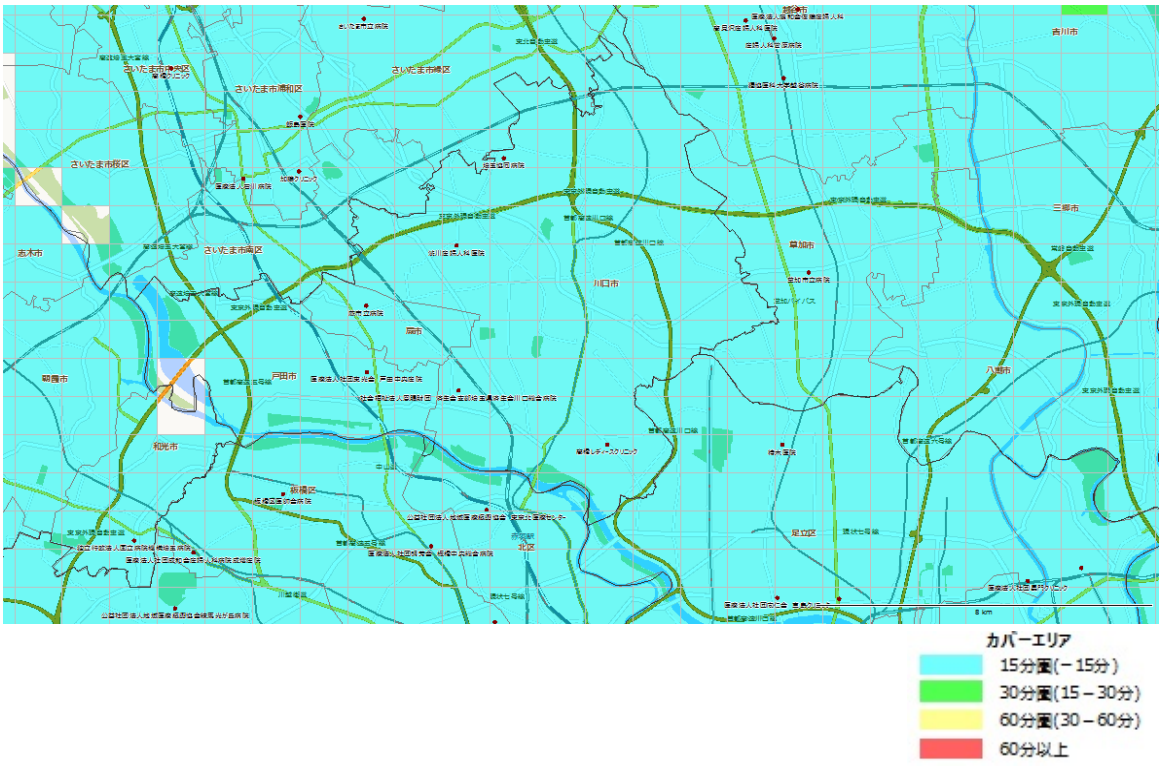
（南部医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

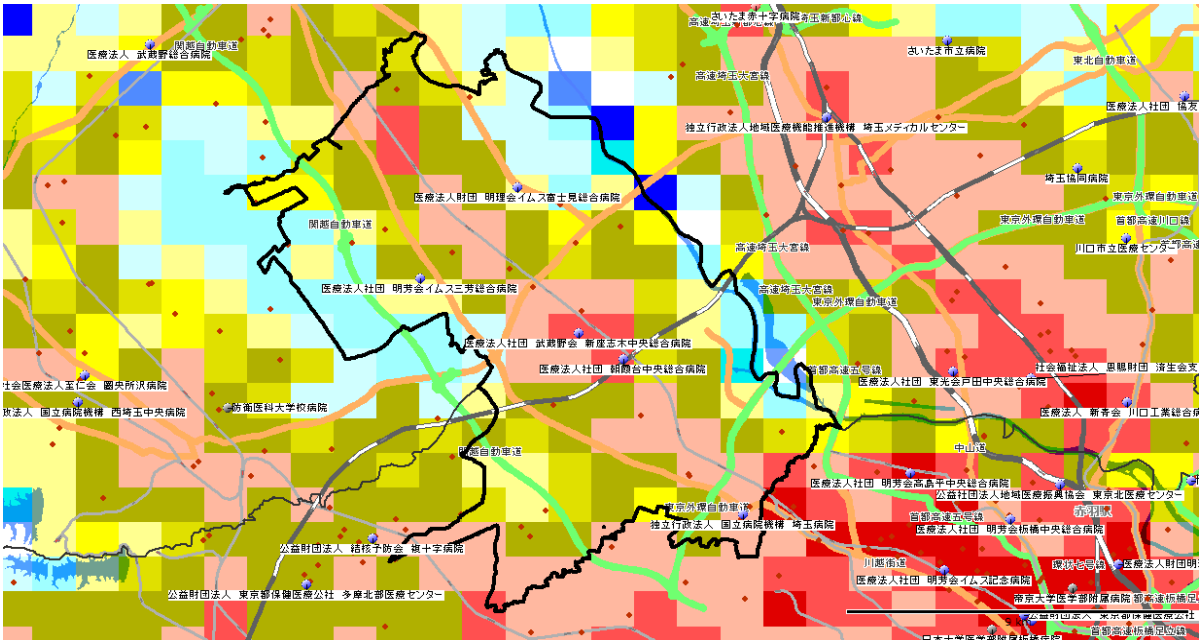


11-2. 南西部（なんせいぶ）医療圏

構成市区町村　朝霞市　志木市　和光市　新座市
富士見市　ふじみ野市　三芳町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(南西部医療圏)　1.　地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など：　南西部(朝霞市)は、総人口約709千人(2015年)、面積111㎢、人口密度は6,394人/㎢の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測：　南西部の総人口は2025年に725千人へと増加し(2015年比＋2%)、2040年に712千人へと減少する(2025年比－2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて108千人へと増加し(2015年比＋54%)、2040年には110千人へと増加する(2025年比＋2%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費：　南西部の一人当たり医療費(国保)は305千円(偏差値40)、介護給付費は188千円(偏差値31)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度：　南西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.65で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

＊医師・看護師の現状：　総医師数の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

＊一般病床等の現状：　人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHO埼玉病院（Ⅲ群）、1000例以上の新座志木中央総合病院（Ⅲ群）、TMGあさか医療センター（Ⅲ群）、500例以上のイムス富士見総合病院（Ⅲ群）、イムス三芳総合病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状：　人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状：　総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

＊精神病床の現状：　人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状：　人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状：　南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,250人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,392床(偏差値51)、高齢者住宅等が3,858床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,964人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム60、軽費ホーム47、グループホーム44、サ高住58である。

＊在宅ケアの現状：　在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、591人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測：　2025年の介護充足度指数は－25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（南西部医療圏）　2.　推移

【人口と医療需要】

南西部医療圏の総人口は、2005年665,592人が、2015年に709,451人と7%増加し、2025年の人口が724,586人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に25%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

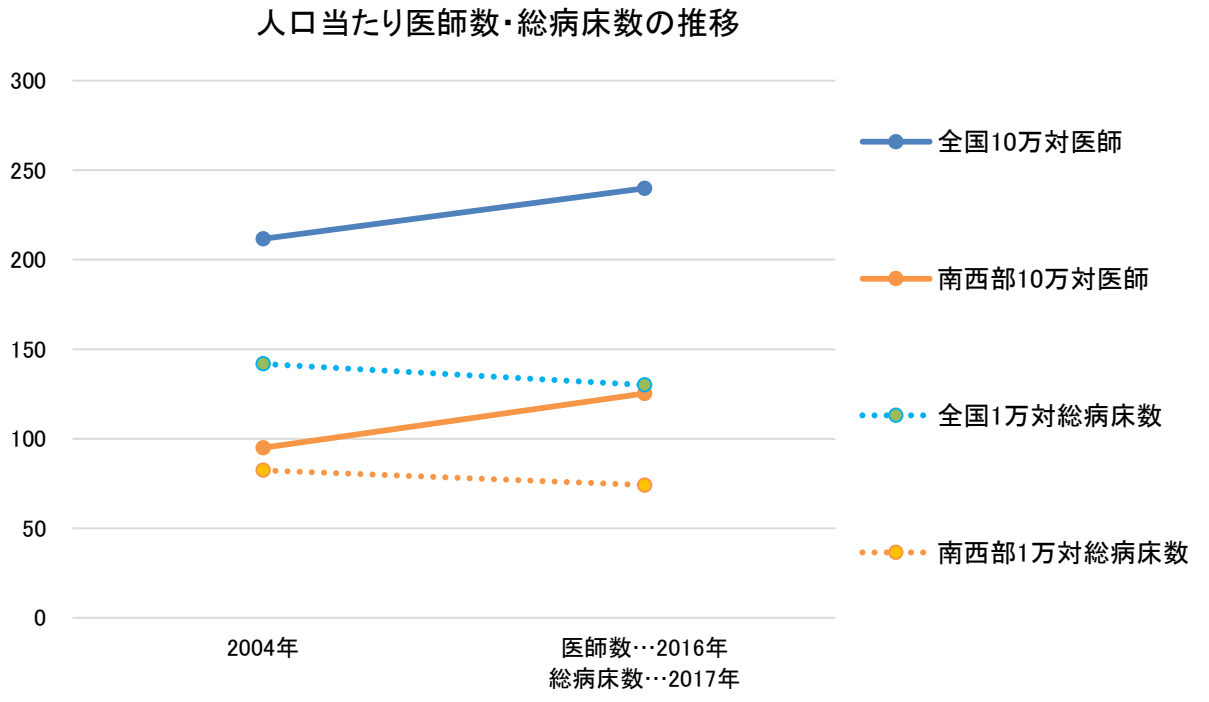
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が32（人口10万人当たり4.8病院（全国平均7.1）偏差値44）であったが、2017年に28（人口10万人当たり3.9病院（全国平均6.6）偏差値44）となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が310（人口10万人当たり47診療所（全国平均76）偏差値35）であったが、2017年に359（人口10万人当たり51診療所（全国平均80）偏差値35）と、49診療所が増加した。

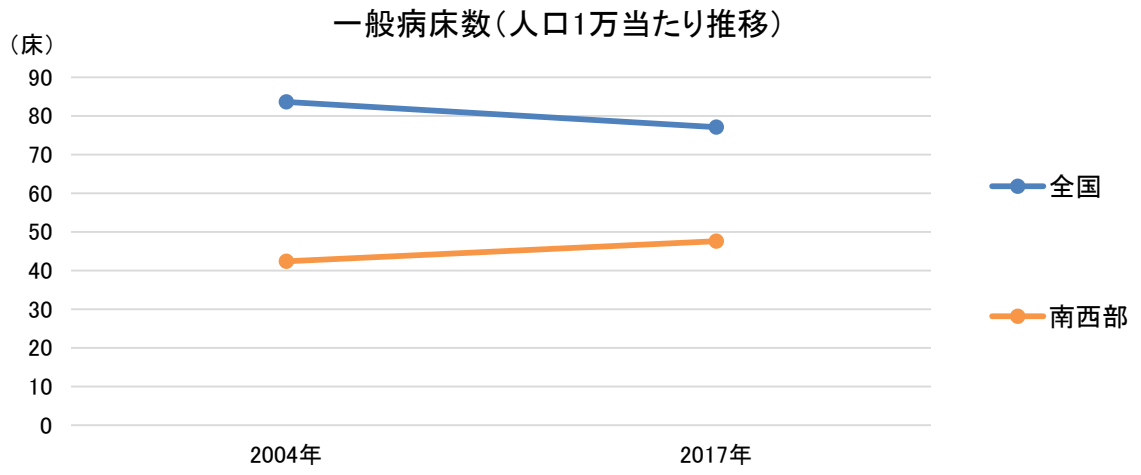
2004年の総病床数が5,485床（人口1万人当たり82（全国平均142）偏差値39）であったが、2017年に5,262床（人口1万人当たり74（全国平均130）偏差値40）と、223床の減少、率にして4%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が632人（人口10万人当たり95人（全国平均212人）偏差値36）であったが、2016年に889人（人口10万人当たり125人（全国平均240人）偏差値37）と、257人の増加、率にして41%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



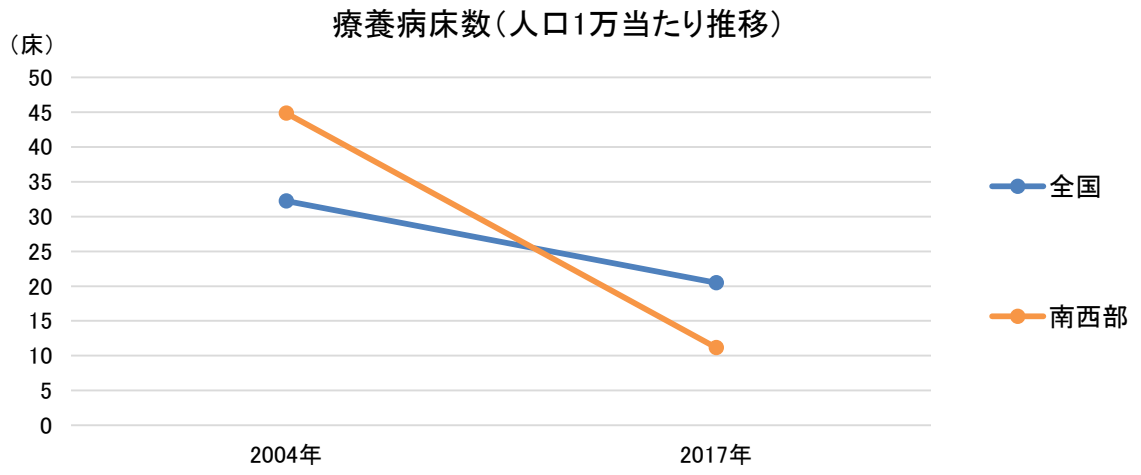
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が2,820床（人口1万人当たり42（全国平均84）偏差値35）であったが、2017年に3,376床（人口1万人当たり48（全国平均77）偏差値39）と、556床の増加、率にして20％の増加（全国平均8％の減少）が見られた。



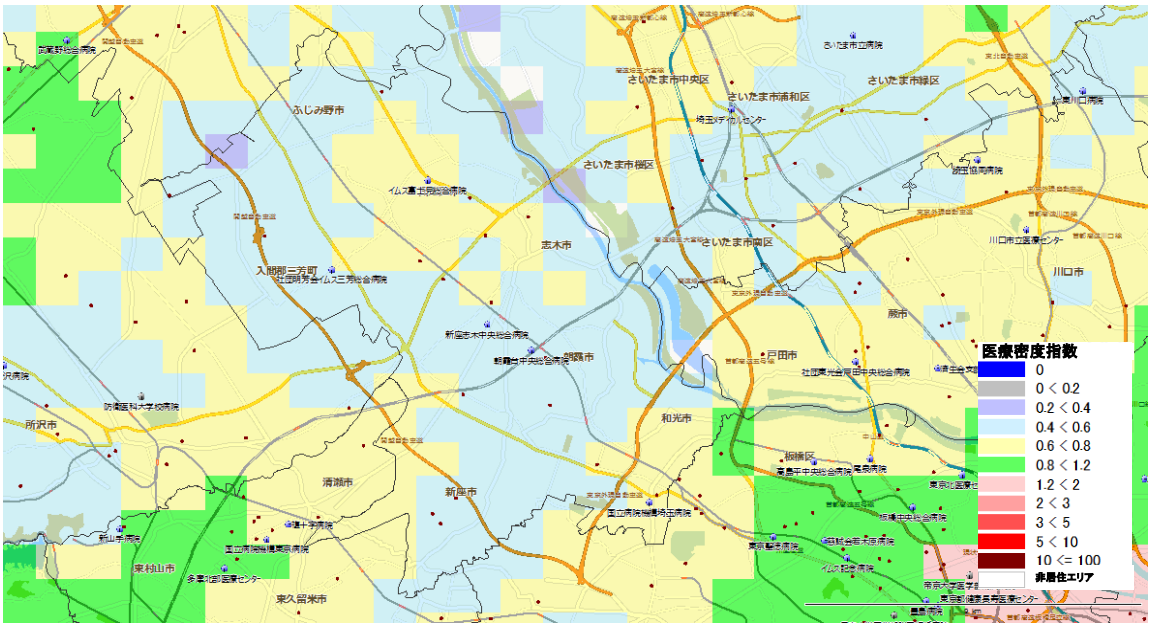
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が1,522床（75歳以上1,000人当たり45（全国平均32）偏差値57）であったが、2017年に780床（75歳以上1,000人当たり11（全国平均20）偏差値42）と、742床の減少、率にして49％の減少（全国平均11％の減少）が見られた。



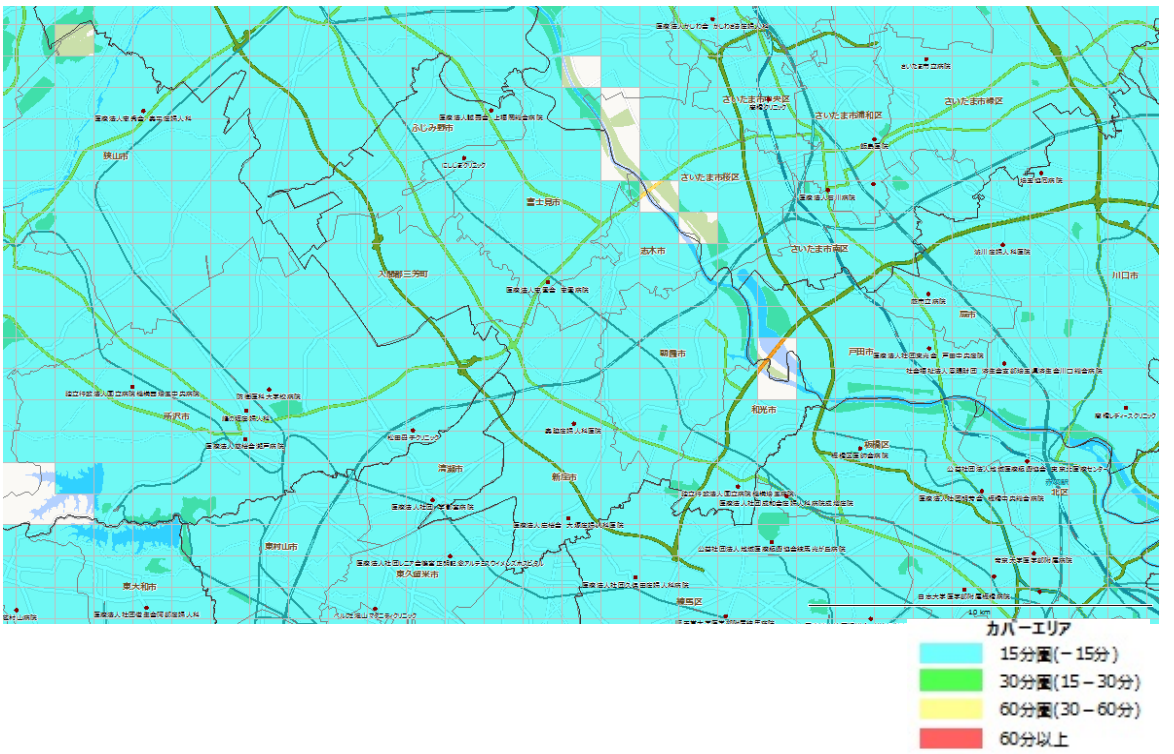
（南西部医療圏）　3.　医療密度・周産期カバーエリア

図表11-2-1　急性期医療密度指数マップ



図表11-2-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

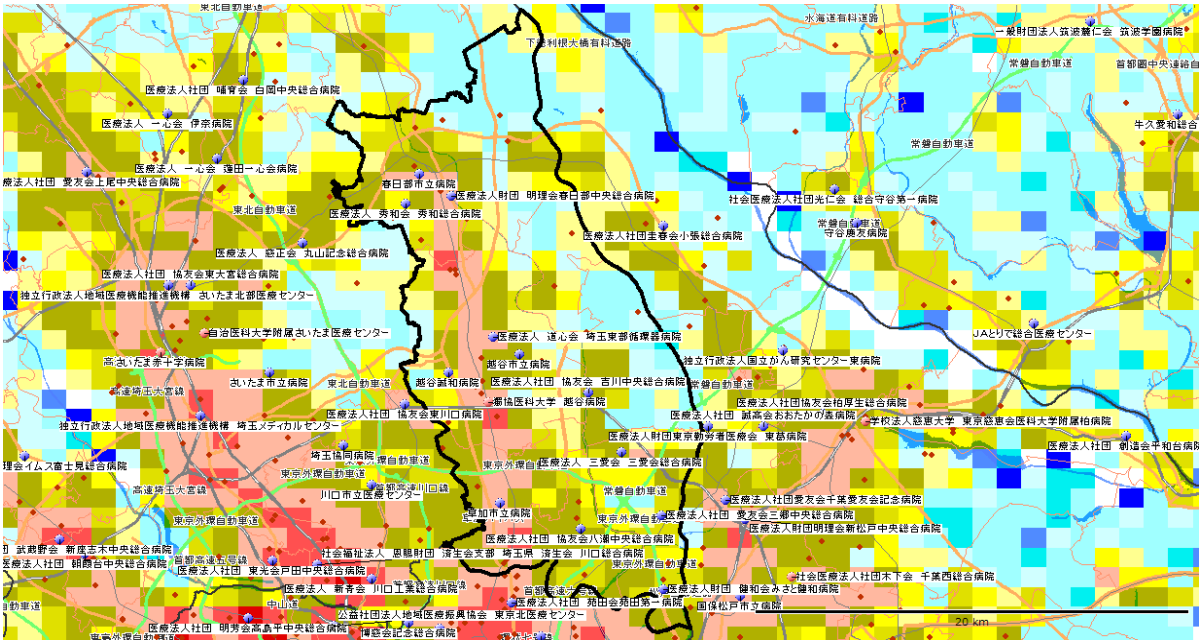


11-3. 東部（とうぶ）医療圏

構成市区町村　春日部市　草加市　越谷市　八潮市
三郷市　吉川市　松伏町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（東部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 東部（春日部市）は、総人口約1,140千人（2015年）、面積250㎢、人口密度は4,566人/㎢の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に1,141千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年に1,073千人へと減少する（2025年比－6%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の113千人が、2025年にかけて191千人へと増加し（2015年比＋69%）、2040年には183千人へと減少する（2025年比－4%）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費（国保）は314千円（偏差値42）、介護給付費は180千円（偏差値29）であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数は0.66、一人当たり慢性期医療密度指数は0.45で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40（病院医師数42、診療所医師数37）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学埼玉医療センター（Ⅱ群・救命）、1000例以上の草加市立病院（Ⅲ群）、越谷市立病院（Ⅲ群）、春日部市立医療センター（Ⅲ群）、春日部中央総合病院（Ⅲ群）、500例以上の三郷中央総合病院（Ⅲ群）、三愛会総合病院（Ⅲ群）、みさと健和病院（Ⅲ群）、八潮中央総合病院（Ⅲ群）、越谷誠和病院（Ⅲ群）、秀和総合病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、12,804人（75歳以上1,000人当たりの偏差値56）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,203床（偏差値45）、高齢者住宅等が6,601床（偏差値60）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、7,880人（75歳以上1,000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム66、軽費ホーム45、グループホーム43、サ高住55である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1,171人（75歳以上1,000人当たりの偏差値44）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－33%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（東部医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年1,085,540人が、2015年に1,140,278人と5%増加し、2025年の人口が1,141,101人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に27%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

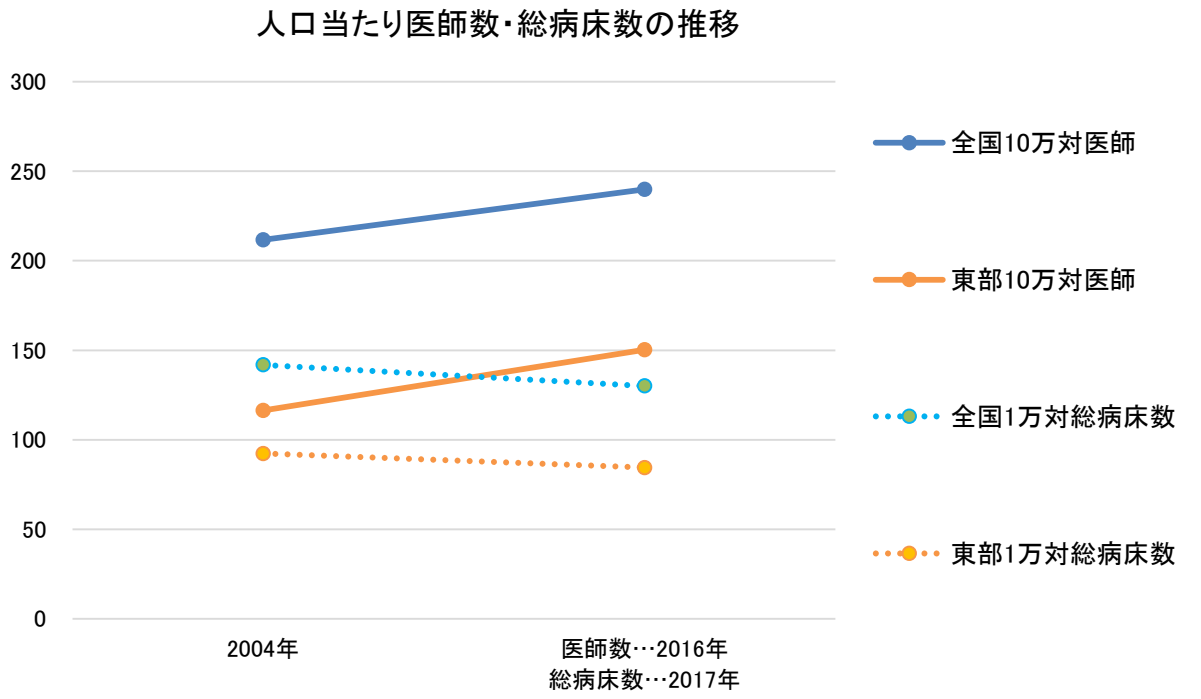
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が50（人口10万人当たり4.6病院（全国平均7.1）偏差値44）であったが、2017年に51（人口10万人当たり4.5病院（全国平均6.6）偏差値45）となり、13年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が479（人口10万人当たり44診療所（全国平均76）偏差値34）であったが、2017年に586（人口10万人当たり51診療所（全国平均80）偏差値35）と、107診療所が増加した。

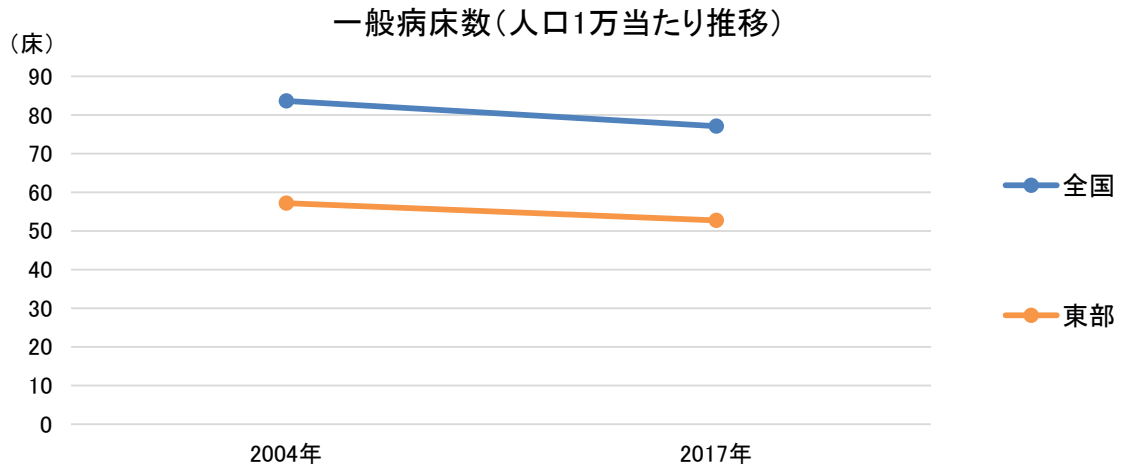
2004年の総病床数が10,023床（人口1万人当たり92（全国平均142）偏差値41）であったが、2017年に9,635床（人口1万人当たり84（全国平均130）偏差値42）と、388床の減少、率にして4%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,263人（人口10万人当たり116人（全国平均212人）偏差値39）であったが、2016年に1,714人（人口10万人当たり150人（全国平均240人）偏差値40）と、451人の増加、率にして36%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



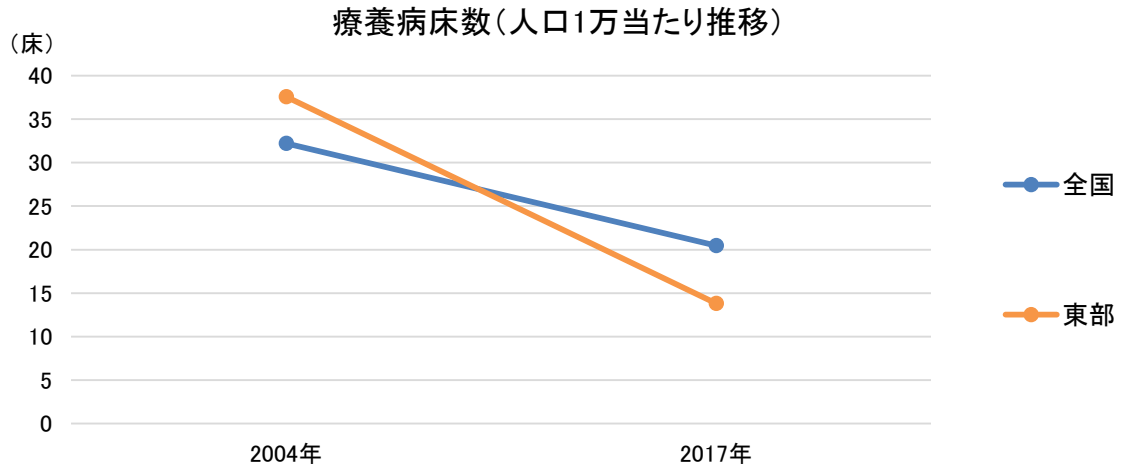
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が6,210床（人口1万人当たり57（全国平均84）偏差値41）であったが、2017年に6,017床（人口1万人当たり53（全国平均77）偏差値41）と、193床の減少、率にして3％の減少（全国平均8％の減少）が見られた。



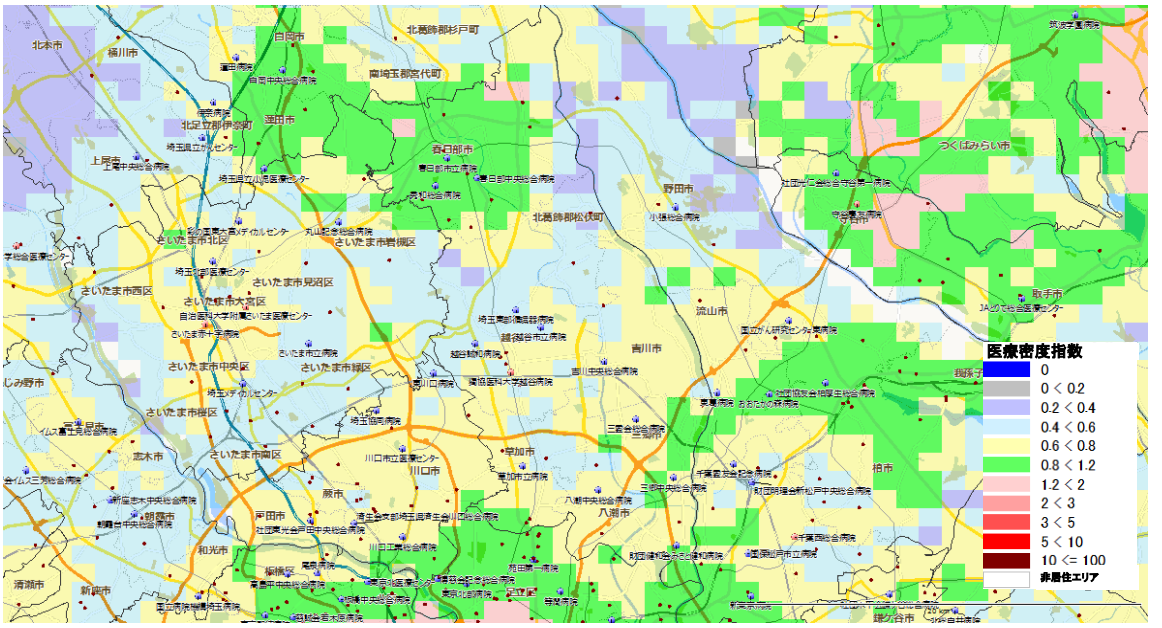
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が2,015床（75歳以上1,000人当たり38（全国平均32）偏差値53）であったが、2017年に1,561床（75歳以上1,000人当たり14（全国平均20）偏差値44）と、454床の減少、率にして23％の減少（全国平均11％の減少）が見られた。



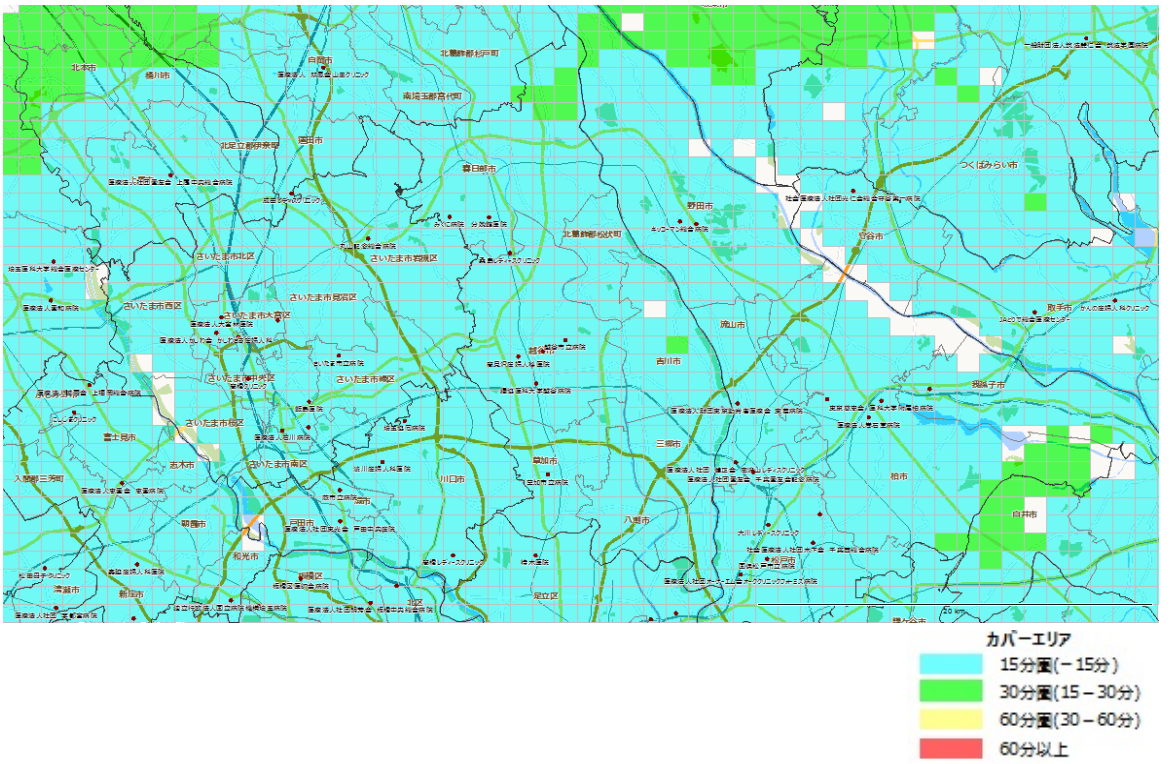
（東部医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

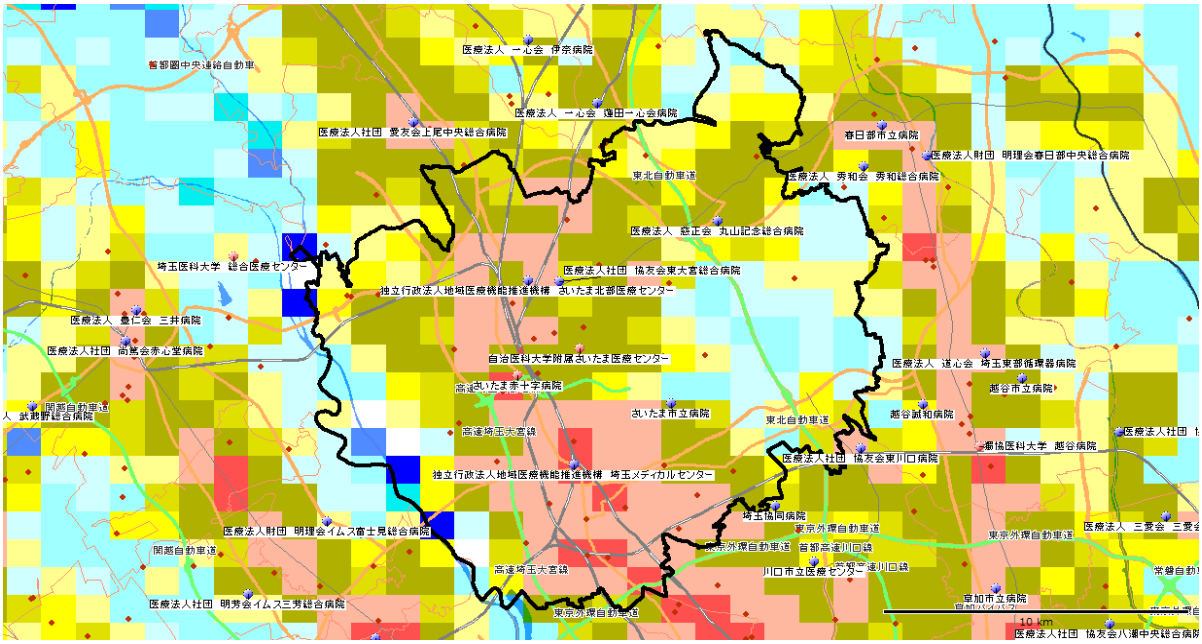


11-4. さいたま医療圏

構成市区町村　西区　北区　大宮区　見沼区
中央区　桜区　浦和区　南区
緑区　岩槻区

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(さいたま医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など: さいたま(さいたま市西区)は、総人口約1,264千人(2015年)、面積217㎢、人口密度は5,813人/㎢の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測: さいたまの総人口は2025年に1,312千人へと増加し(2015年比＋4%)、2040年に1,302千人へと減少する(2025年比－1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の129千人が、2025年にかけて202千人へと増加し(2015年比＋57%)、2040年には229千人へと増加する(2025年比＋13%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費: さいたまの一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度: さいたまの一人当たり急性期医療密度指数は0.65、一人当たり慢性期医療密度指数は0.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状: 総医師数の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

＊一般病床等の現状: 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。さいたまには、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉県立小児医療センター(Ⅲ群)、さいたま市立病院(Ⅲ群)、さいたま赤十字病院(Ⅱ群・救命)、自治医科大学附属さいたま医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の彩の国東大宮メディカルセンター(Ⅲ群)、JCHO埼玉メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の丸山記念総合病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状: 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状: 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

＊精神病床の現状: 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状: 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状: さいたまの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,934人(75歳以上1,000人当たりの偏差値76)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,803床(偏差値56)、高齢者住宅等が10,131床(偏差値73)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,634人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム85、軽費ホーム48、グループホーム40、サ高住57である。

＊在宅ケアの現状: 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,472人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

＊介護の2025年の需要予測: 2025年の介護充足度指数は＋10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

（さいたま医療圏）　2.　推移

【人口と医療需要】

さいたま医療圏の総人口は、2005年1,176,314人が、2015年に1,263,979人と7%増加し、2025年の人口が1,312,452人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に24%増加し、2015年から2025年にかけて14%程度の増加が予測される。

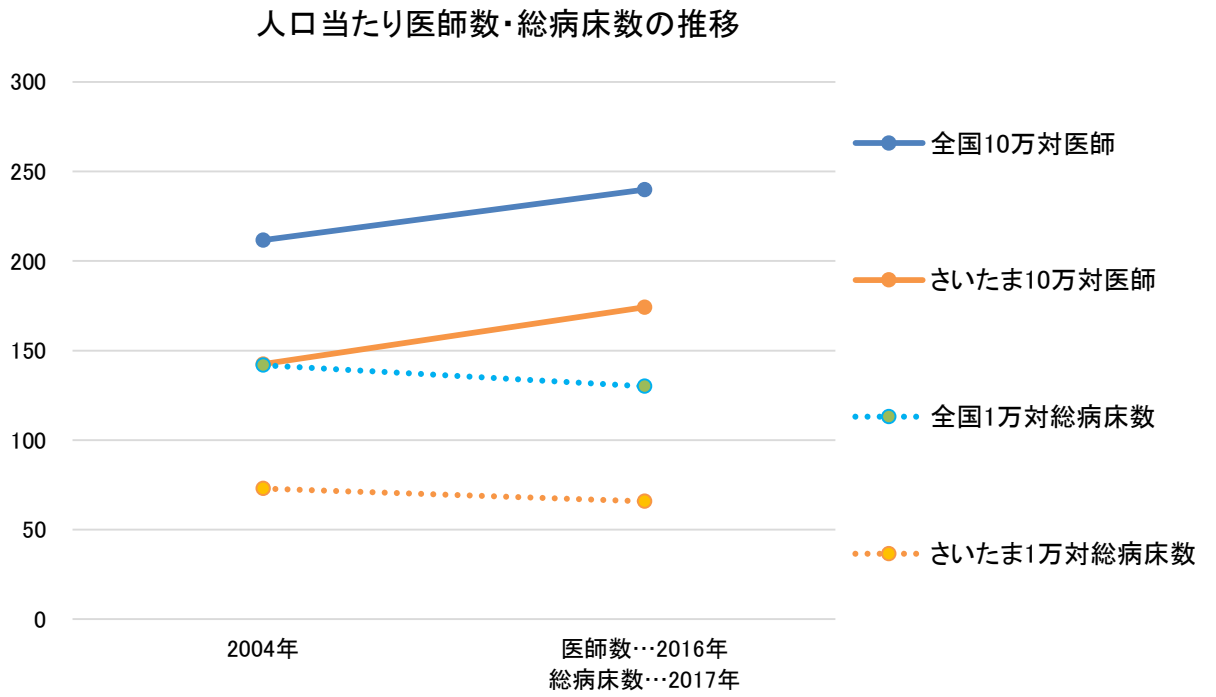
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が43（人口10万人当たり3.7病院（全国平均7.1）偏差値41）であったが、2017年に37（人口10万人当たり2.9病院（全国平均6.6）偏差値42）となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が753（人口10万人当たり64診療所（全国平均76）偏差値44）であったが、2017年に918（人口10万人当たり73診療所（全国平均80）偏差値46）と、165診療所が増加した。

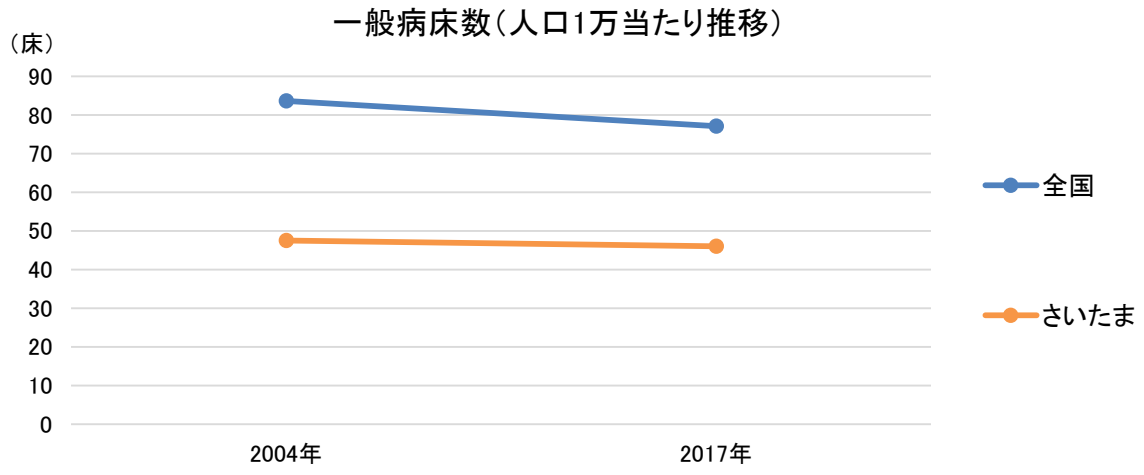
2004年の総病床数が8,585床（人口1万人当たり73（全国平均142）偏差値38）であったが、2017年に8,317床（人口1万人当たり66（全国平均130）偏差値38）と、268床の減少、率にして3%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,675人（人口10万人当たり142人（全国平均212人）偏差値42）であったが、2016年に2,203人（人口10万人当たり174人（全国平均240人）偏差値43）と、528人の増加、率にして32%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



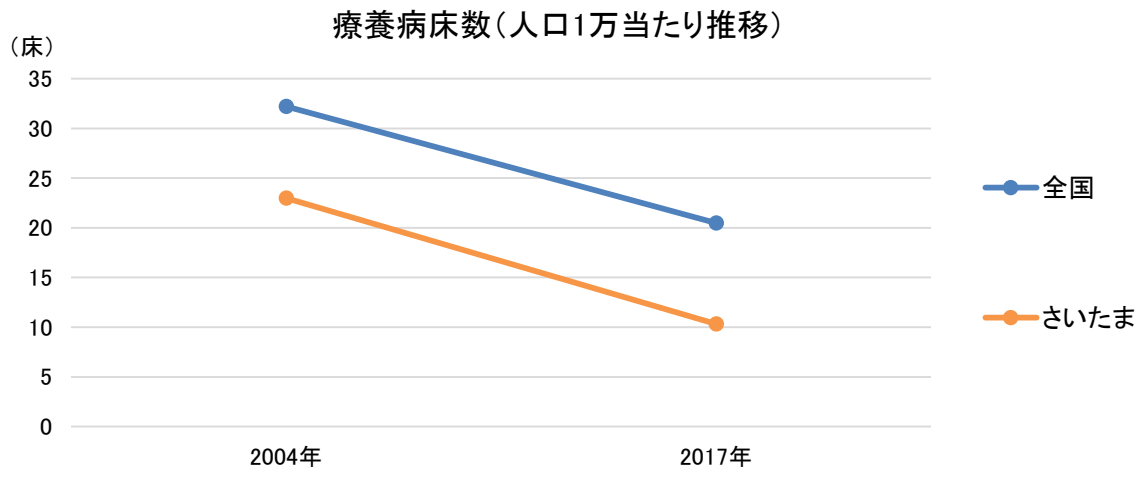
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が5,589床（人口1万人当たり48（全国平均84）偏差値37）であったが、2017年に5,824床（人口1万人当たり46（全国平均77）偏差値38）と、235床の増加、率にして4%の増加（全国平均8%の減少）が見られた。



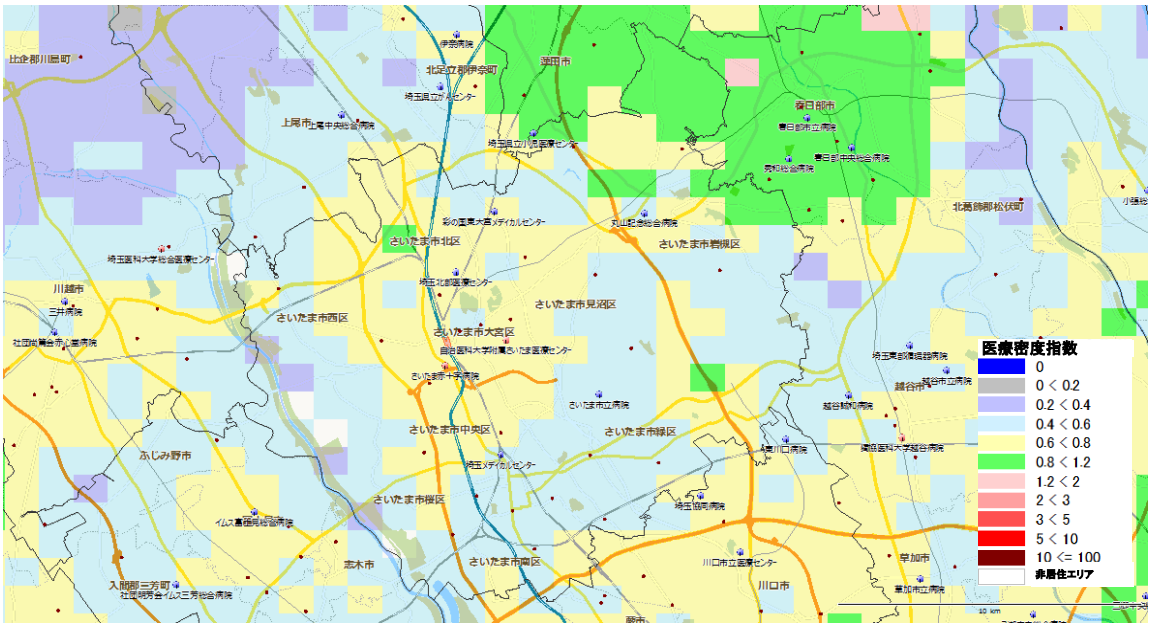
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が1,701床（75歳以上1,000人当たり23（全国平均32）偏差値45）であったが、2017年に1,332床（75歳以上1,000人当たり10（全国平均20）偏差値41）と、369床の減少、率にして22%の減少（全国平均11%の減少）が見られた。



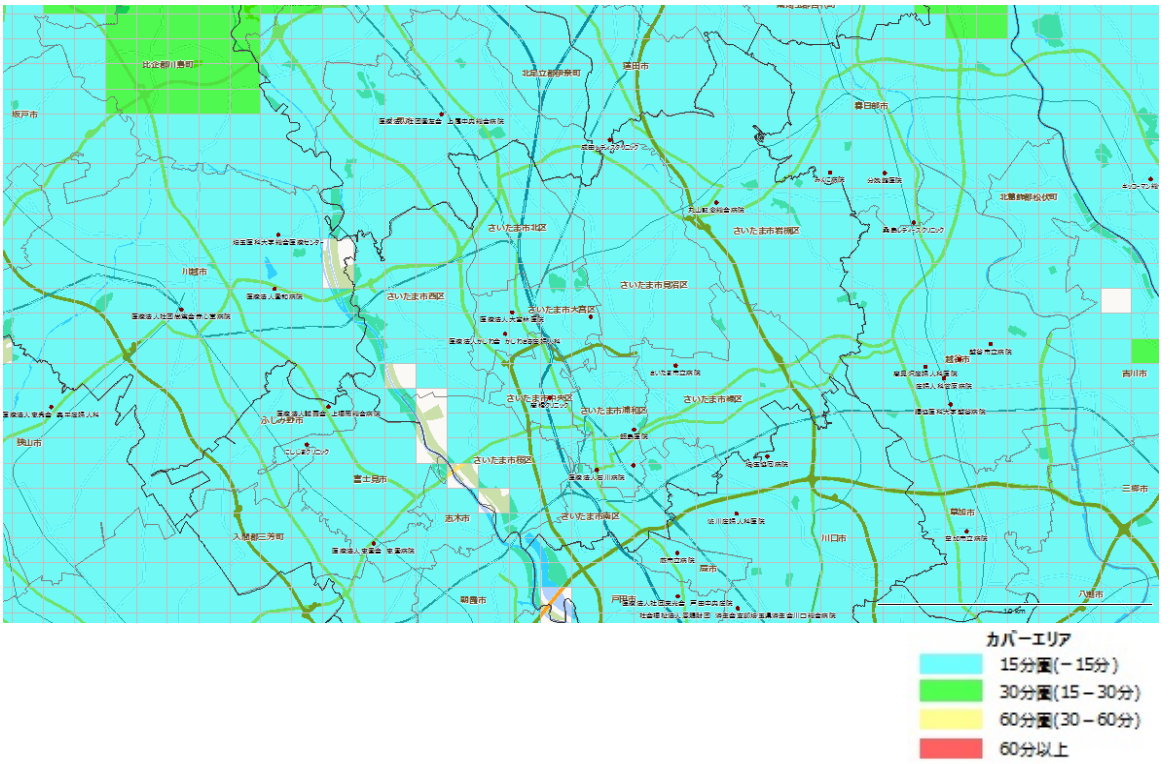
（さいたま医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

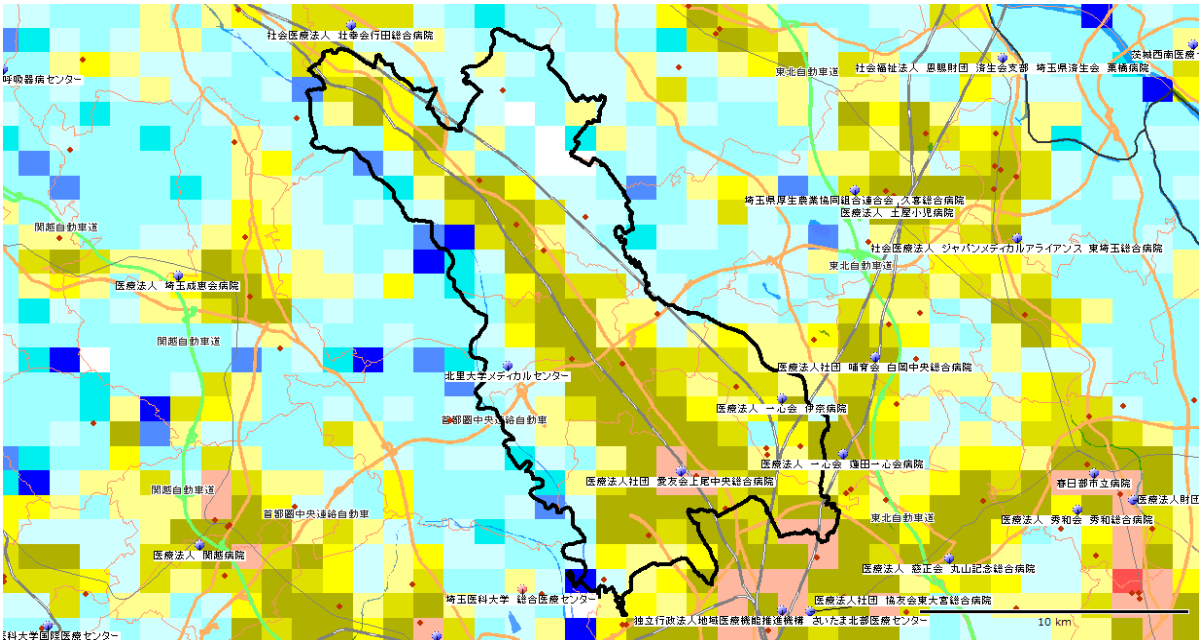


11-5. 県央医療圏（けんおう）

構成市区町村　鴻巣市　上尾市　桶川市　北本市　伊奈町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（県央医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 県央（鴻巣市）は、総人口約529千人（2015年）、面積173㎢、人口密度は3,060人/㎢の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に513千人へと減少し（2015年比－3％）、2040年に463千人へと減少する（2025年比－10％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の58千人が、2025年にかけて93千人へと増加し（2015年比＋60％）、2040年には94千人へと増加する（2025年比＋1％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費（国保）は336千円（偏差値48）、介護給付費は189千円（偏差値32）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数は0.59、一人当たり慢性期医療密度指数は0.51で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41（病院医師数42、診療所医師数40）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の上尾中央総合病院（Ⅲ群）、埼玉県立がんセンター（Ⅲ群）、1000例以上の北里大学メディカルセンター（Ⅲ群）、500例以上の伊奈病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、6,397人（75歳以上1,000人当たりの偏差値54）と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,348床（偏差値61）、高齢者住宅等が2,049床（偏差値46）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、4,350人（75歳以上1,000人当たりの偏差値47）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし（偏差値41）、有料老人ホーム49、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム43、サ高住50である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員（在宅）の合計は、418人（75歳以上1,000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－31％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（県央医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年520,164人が、2015年に529,055人と2%増加し、2025年の人口が512,725人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

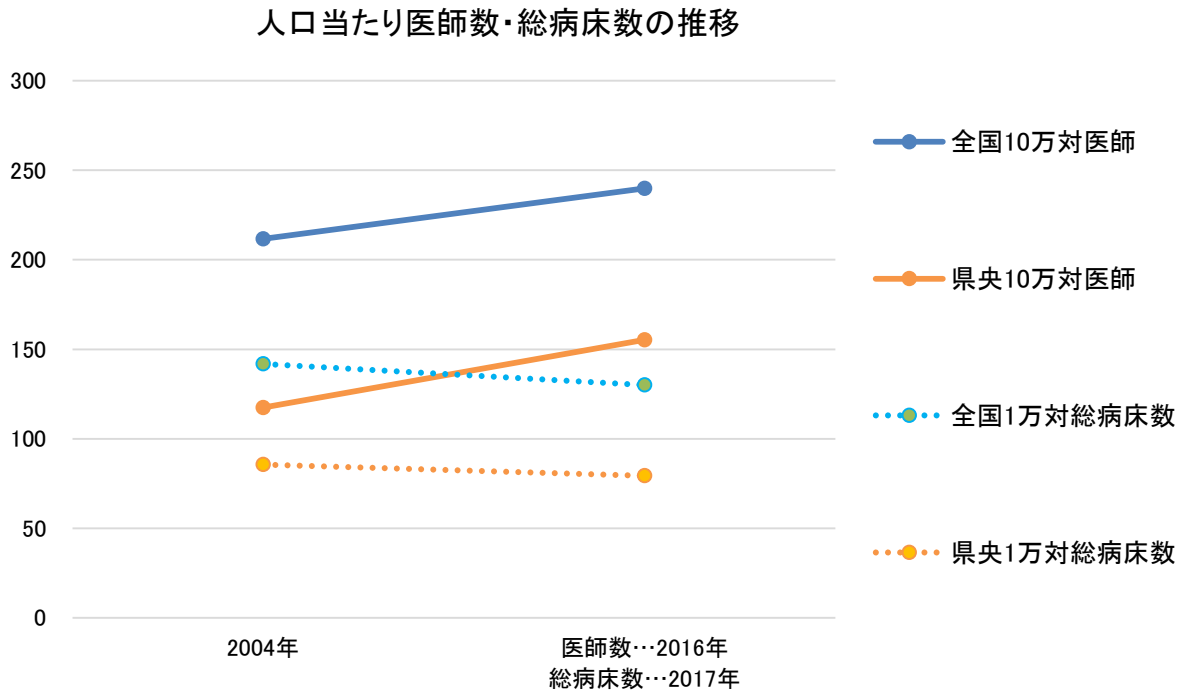
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21（人口10万人当たり4病院（全国平均7.1）偏差値42）であったが、2017年に18（人口10万人当たり3.4病院（全国平均6.6）偏差値43）となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が259（人口10万人当たり50診療所（全国平均76）偏差値37）であったが、2017年に290（人口10万人当たり55診療所（全国平均80）偏差値37）と、31診療所が増加した。

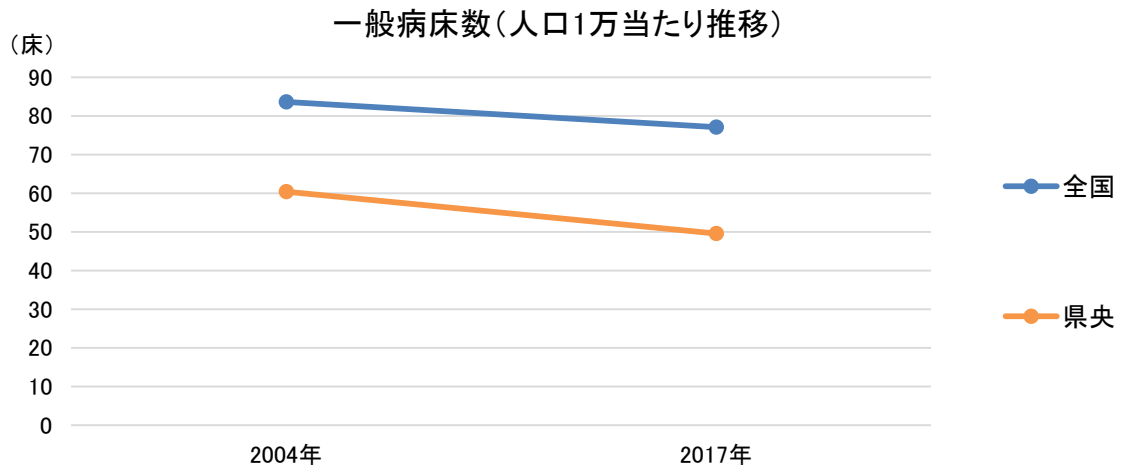
2004年の総病床数が4,455床（人口1万人当たり86（全国平均142）偏差値40）であったが、2017年に4,202床（人口1万人当たり79（全国平均130）偏差値41）と、253床の減少、率にして6%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が611人（人口10万人当たり117人（全国平均212人）偏差値39）であったが、2016年に822人（人口10万人当たり155人（全国平均240人）偏差値41）と、211人の増加、率にして35%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



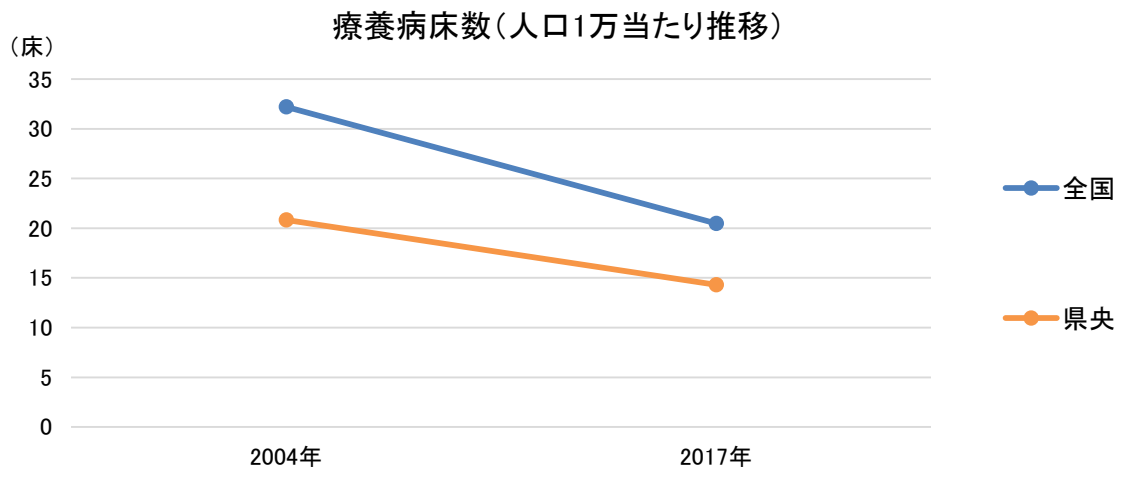
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が3,143床（人口1万人当たり60（全国平均84）偏差値42）であったが、2017年に2,625床（人口1万人当たり50（全国平均77）偏差値39）と、518床の減少、率にして16％の減少（全国平均8％の減少）が見られた。



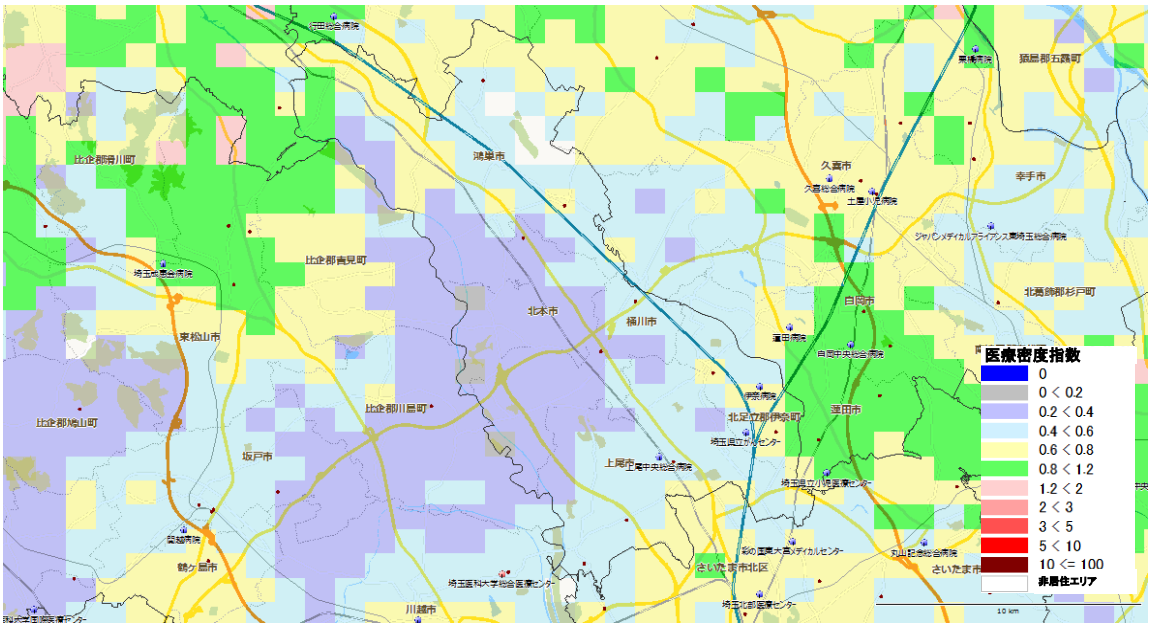
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が633床（75歳以上1,000人当たり21（全国平均32）偏差値44）であったが、2017年に826床（75歳以上1,000人当たり14（全国平均20）偏差値45）と、193床の増加、率にして30％の増加（全国平均11％の減少）が見られた。



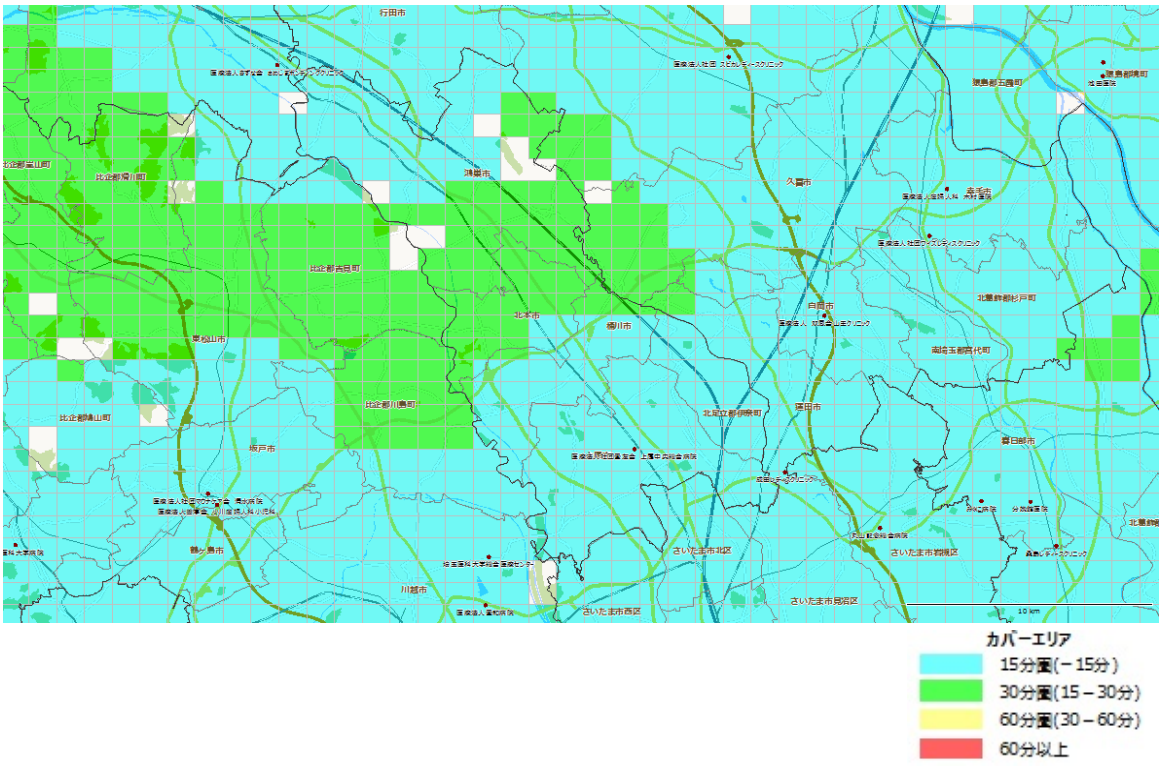
（県央医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））



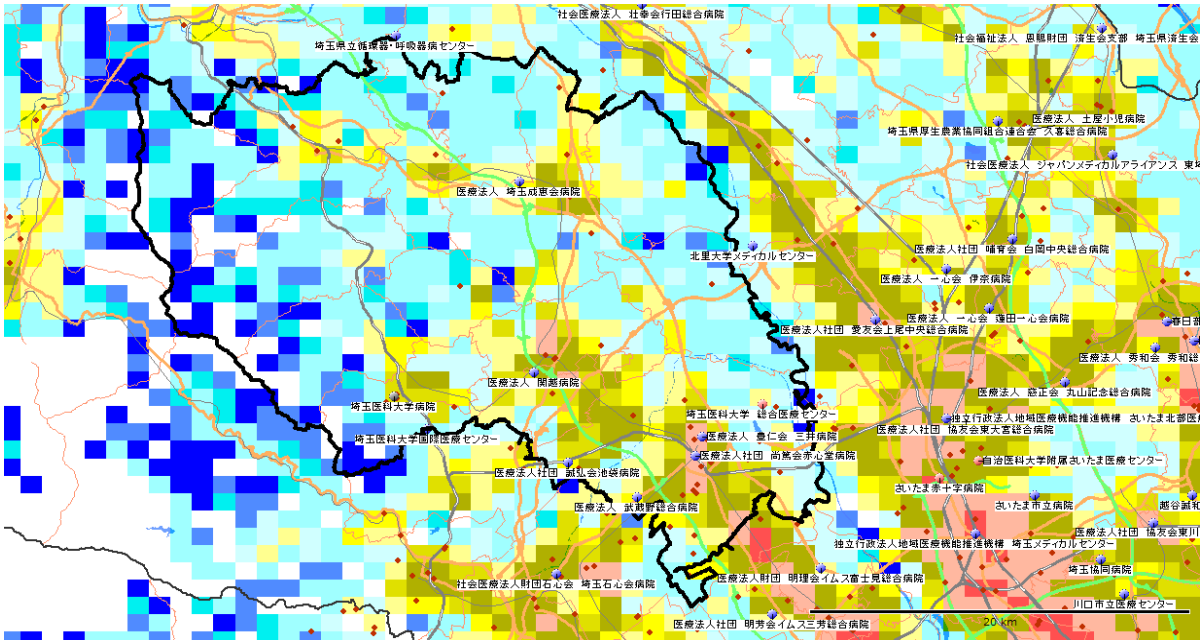
11-6. 川越比企医療圏（かわごえひき）

構成市区町村

川越市	東松山市	坂戸市	鶴ヶ島市
毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町
小川町	川島町	吉見町	鳩山町
ときがわ町	東秩父村		

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（川越比企医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 川越比企（川越市）は、総人口約800千人（2015年）、面積627㎢、人口密度は1,277人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 川越比企の総人口は2025年に779千人へと減少し（2015年比－3％）、2040年に703千人へと減少する（2025年比－10％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の87千人が、2025年にかけて140千人へと増加し（2015年比＋61％）、2040年には138千人へと減少する（2025年比－1％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 川越比企の一人当たり医療費（国保）は327千円（偏差値46）、介護給付費は182千円（偏差値30）であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 川越比企の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.9で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47（病院医師数50、診療所医師数40）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。川越比企には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学総合医療センター（Ⅱ群・救命）、埼玉医科大学病院（Ⅰ群）、1000例以上の赤心堂病院（Ⅲ群）、500例以上の埼玉成恵会病院（Ⅲ群）、小川赤十字病院（Ⅲ群）、三井病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 川越比企の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、8,872人（75歳以上1,000人当たりの偏差値49）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,132床（偏差値48）、高齢者住宅等が3,740床（偏差値50）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、5,891人（75歳以上1,000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム52、軽費ホーム46、グループホーム46、サ高住52である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員（在宅）の合計は、781人（75歳以上1,000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－42％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（川越比企医療圏）　2.　推移

【人口と医療需要】

川越比企医療圏の総人口は、2005年794,810人が、2015年に800,002人と1%増加し、2025年の人口が778,717人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

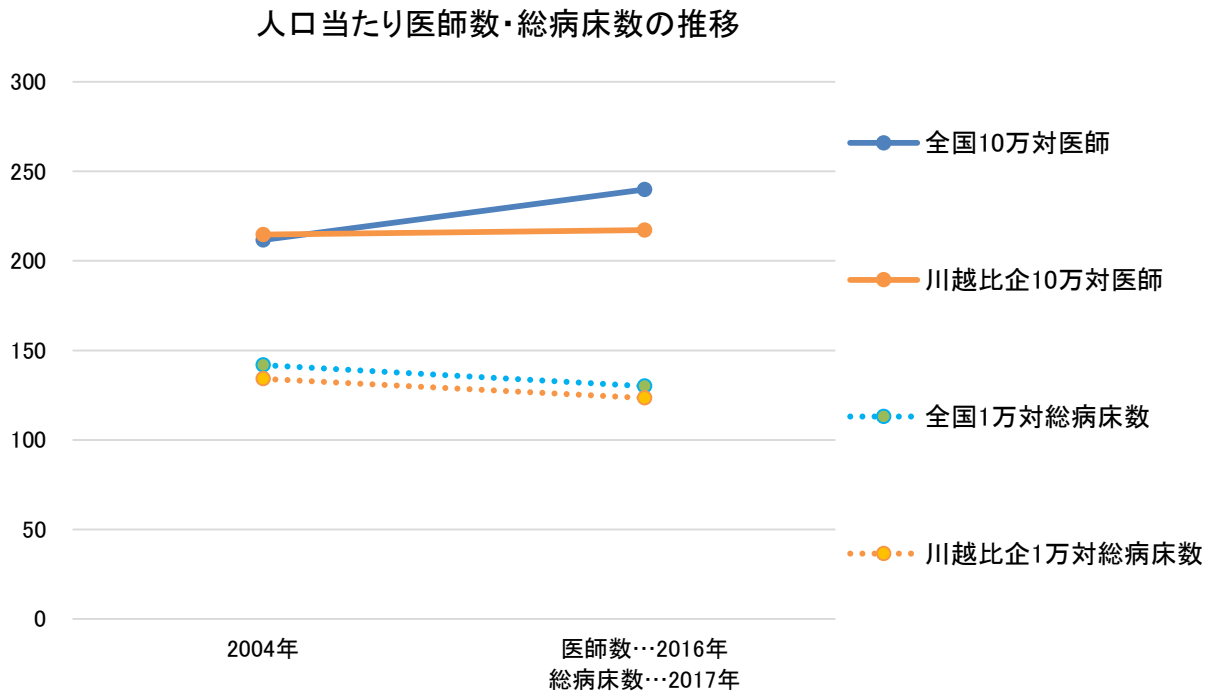
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が51（人口10万人当たり6.4病院（全国平均7.1）偏差値48）であったが、2017年に50（人口10万人当たり6.2病院（全国平均6.6）偏差値49）となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が439（人口10万人当たり55診療所（全国平均76）偏差値40）であったが、2017年に458（人口10万人当たり57診療所（全国平均80）偏差値38）と、19診療所が増加した。

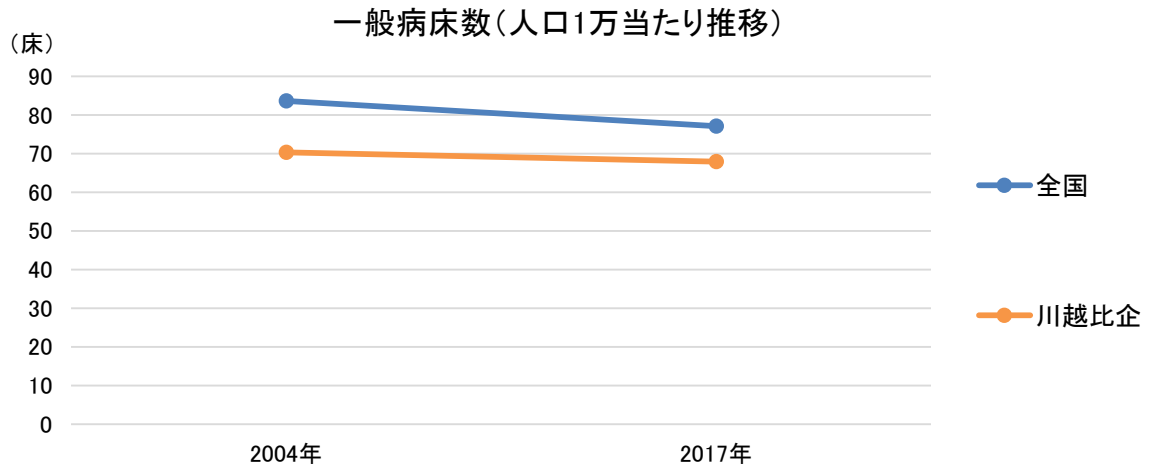
2004年の総病床数が10,667床（人口1万人当たり134（全国平均142）偏差値49）であったが、2017年に9,876床（人口1万人当たり123（全国平均130）偏差値49）と、791床の減少、率にして7%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,707人（人口10万人当たり215人（全国平均212人）偏差値50）であったが、2016年に1,737人（人口10万人当たり217人（全国平均240人）偏差値47）と、30人の増加、率にして2%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



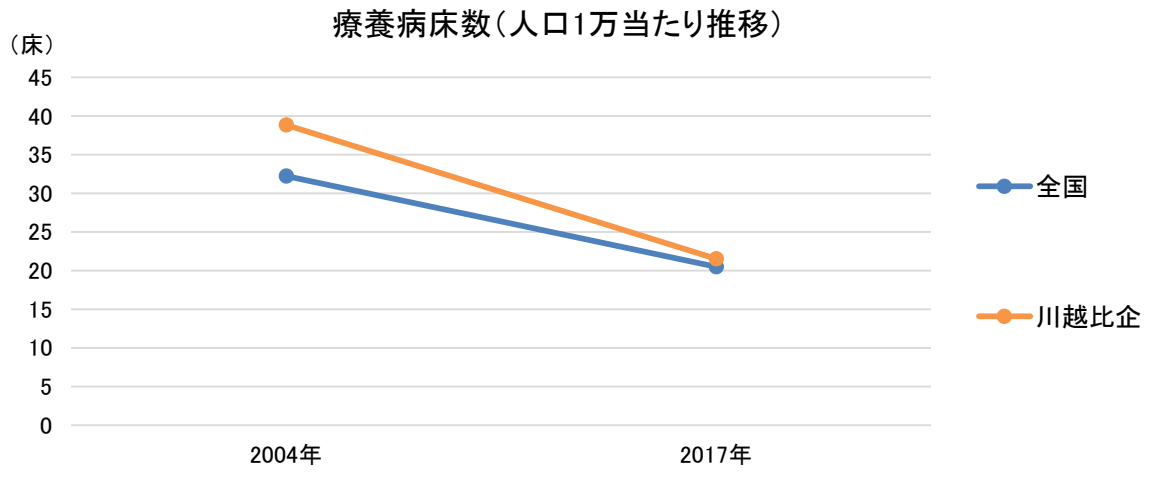
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が5,590床（人口1万人当たり70（全国平均84）偏差値45）であったが、2017年に5,433床（人口1万人当たり68（全国平均77）偏差値46）と、157床の減少、率にして3％の減少（全国平均8％の減少）が見られた。



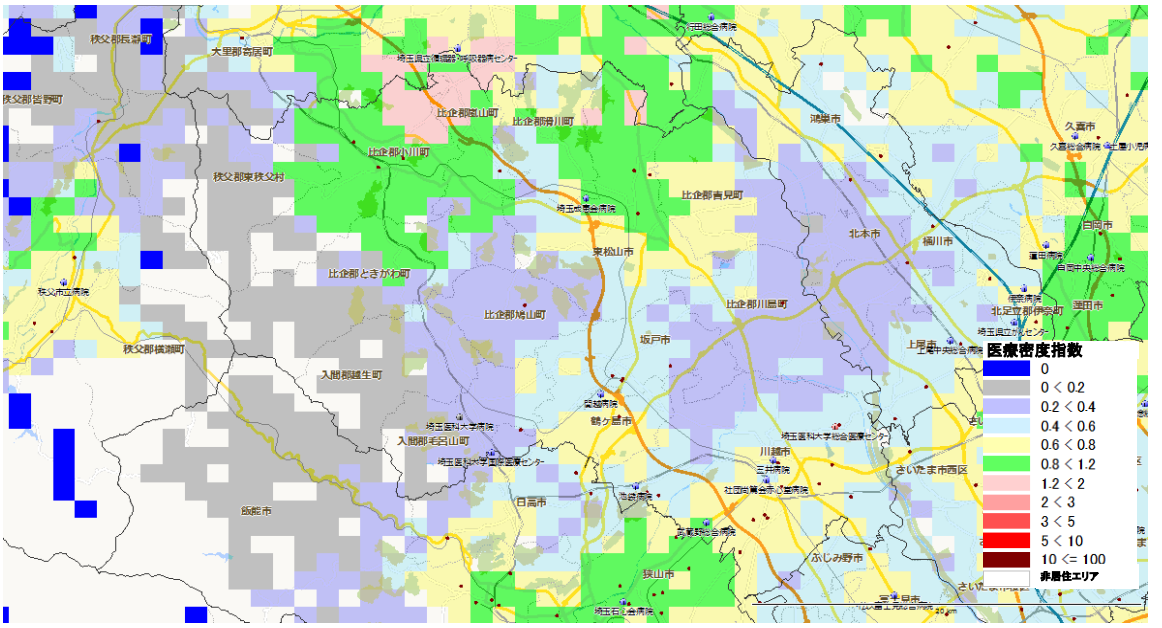
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が2,069床（75歳以上1,000人当たり39（全国平均32）偏差値54）であったが、2017年に1,879床（75歳以上1,000人当たり22（全国平均20）偏差値51）と、190床の減少、率にして9％の減少（全国平均11％の減少）が見られた。



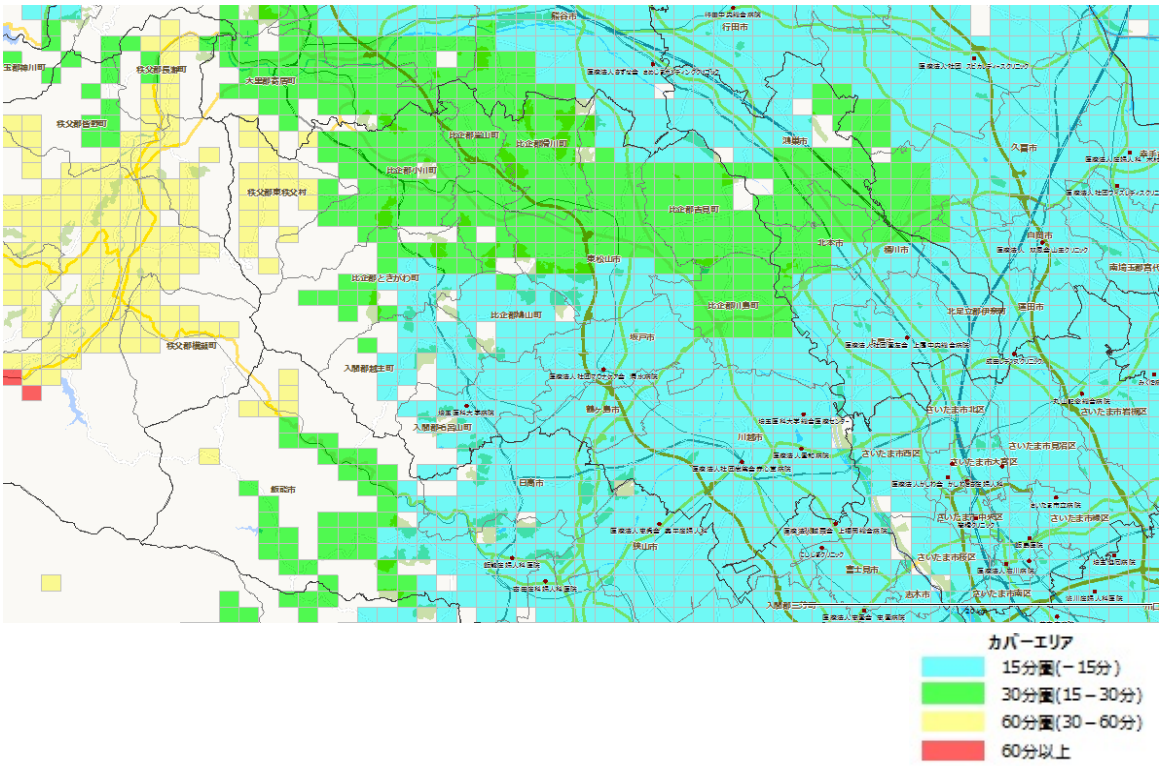
（川越比企医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

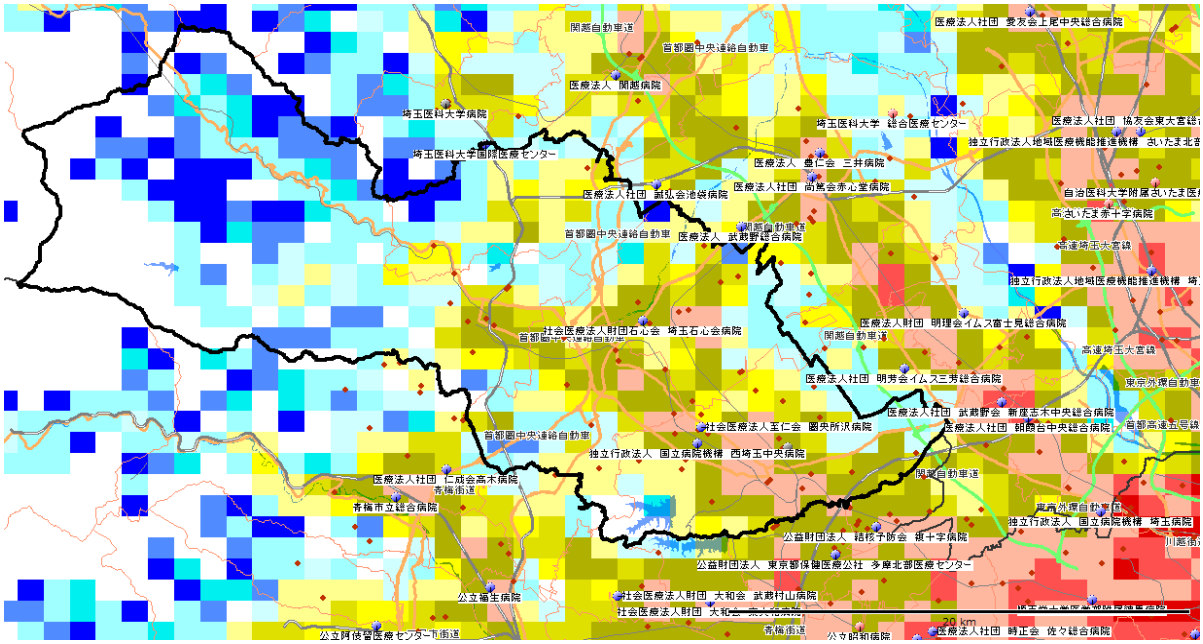


11-7. 西部（せいぶ）医療圏

構成市区町村　所沢市　飯能市　狭山市　入間市　日高市

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（西部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 西部（所沢市）は、総人口約778千人（2015年）、面積406㎢、人口密度は1,916人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 西部の総人口は2025年に744千人へと減少し（2015年比－4％）、2040年に651千人へと減少する（2025年比－13％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の88千人が、2025年にかけて146千人へと増加し（2015年比＋66％）、2040年には153千人へと増加する（2025年比＋5％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 西部の一人当たり医療費（国保）は313千円（偏差値42）、介護給付費は186千円（偏差値31）であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は1.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46（病院医師数48、診療所医師数39）と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学国際医療センター（Ⅱ群・救命）、防衛医科大学校病院（Ⅰ群・救命）、1000例以上のNHO西埼玉中央病院（Ⅲ群）、埼玉石心会病院（Ⅱ群）、500例以上の所沢明生病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 西部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、9,259人（75歳以上1,000人当たりの偏差値51）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,806床（偏差値54）、高齢者住宅等が3,453床（偏差値48）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、6,162人（75歳以上1,000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム37、サ高住49である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、709人（75歳以上1,000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－39％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（西部医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年781,229人が、2015年に778,416人と1%未満減少し、2025年の人口が743,895人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

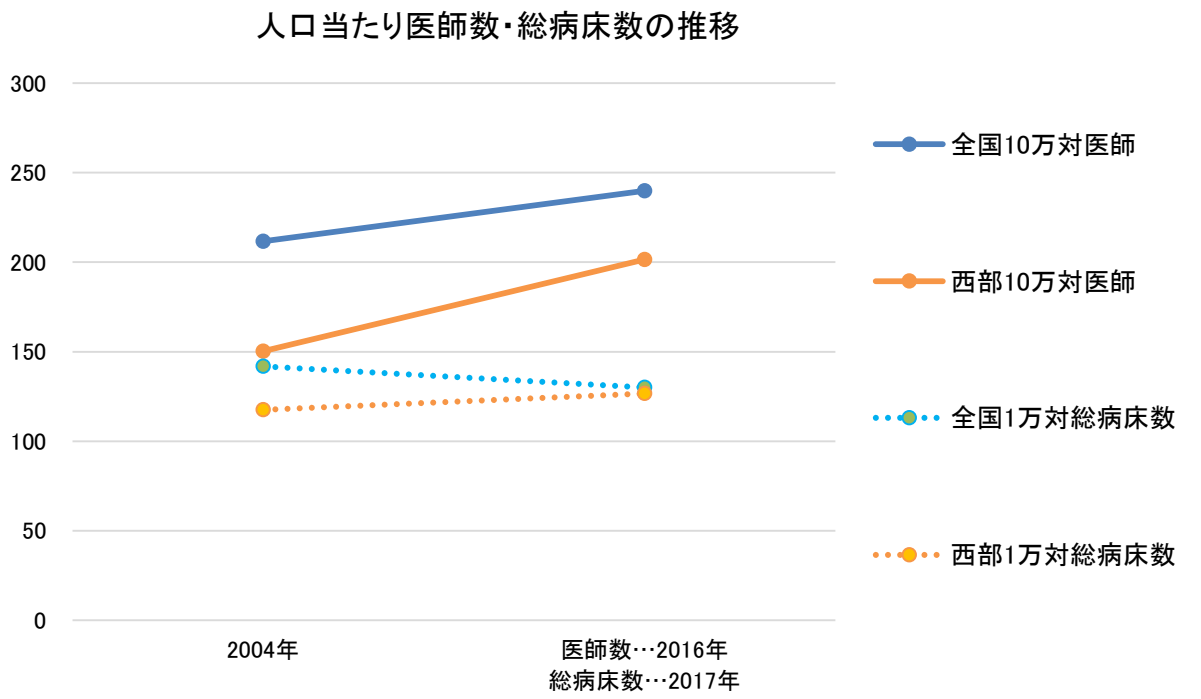
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が56（人口10万人当たり7.2病院（全国平均7.1）偏差値50）であったが、2017年に55（人口10万人当たり7.1病院（全国平均6.6）偏差値51）となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が401（人口10万人当たり51診療所（全国平均76）偏差値38）であったが、2017年に424（人口10万人当たり54診療所（全国平均80）偏差値37）と、23診療所が増加した。

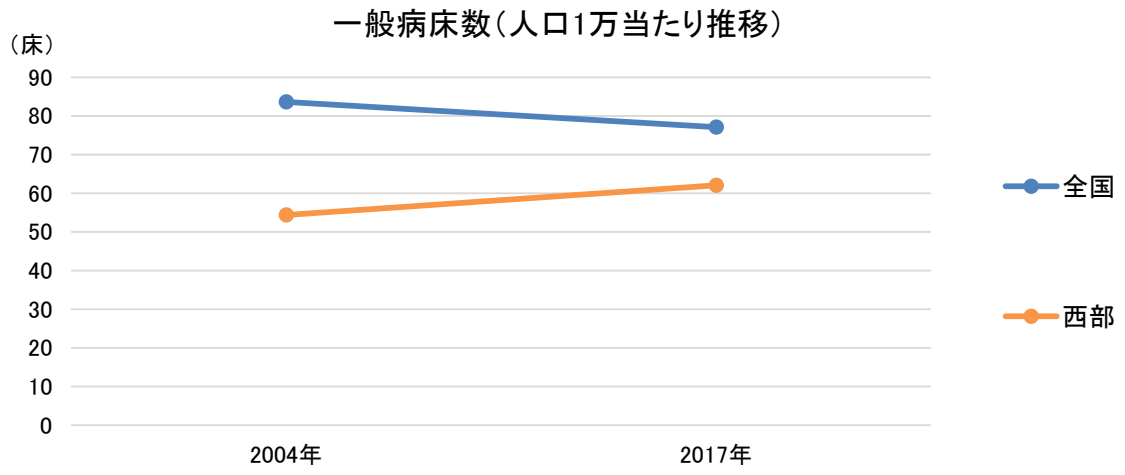
2004年の総病床数が9,188床（人口1万人当たり118（全国平均142）偏差値46）であったが、2017年に9,859床（人口1万人当たり127（全国平均130）偏差値49）と、671床の増加、率にして7%の増加（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,174人（人口10万人当たり150人（全国平均212人）偏差値43）であったが、2016年に1,568人（人口10万人当たり201人（全国平均240人）偏差値46）と、394人の増加、率にして34%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



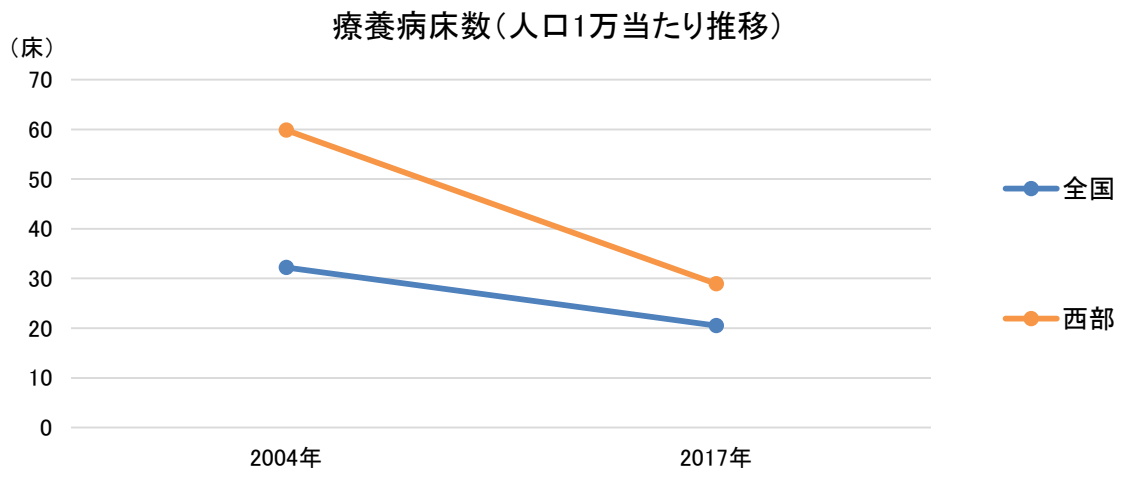
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が4,252床（人口1万人当たり54（全国平均84）偏差値40）であったが、2017年に4,830床（人口1万人当たり62（全国平均77）偏差値44）と、578床の増加、率にして14％の増加（全国平均8％の減少）が見られた。



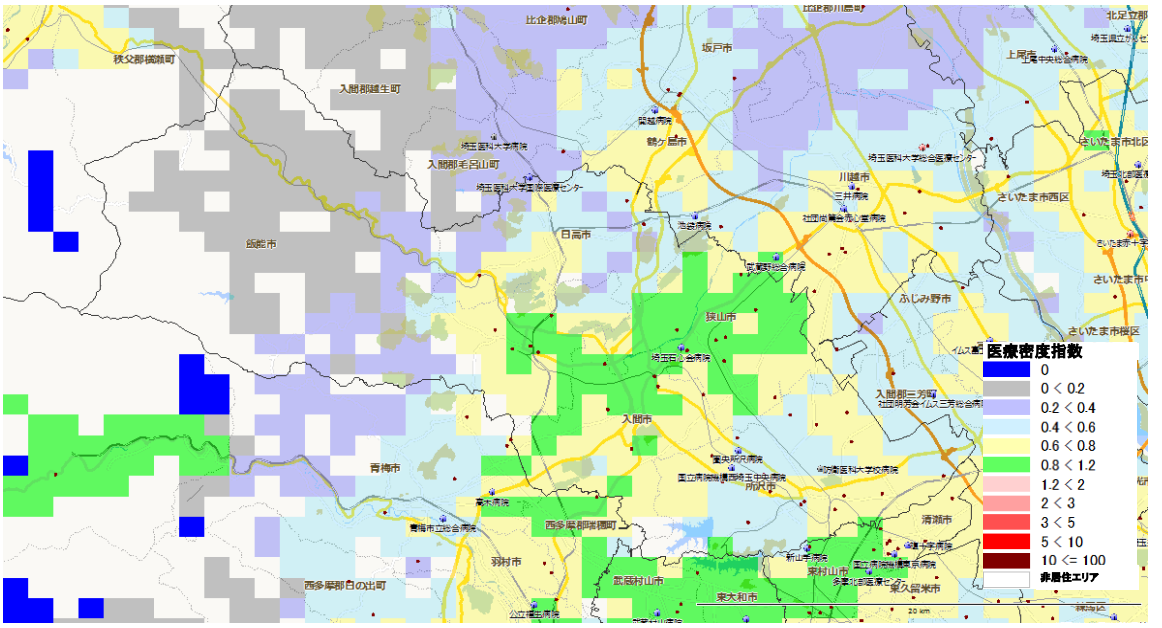
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が3,107床（75歳以上1,000人当たり60（全国平均32）偏差値66）であったが、2017年に2,548床（75歳以上1,000人当たり29（全国平均20）偏差値57）と、559床の減少、率にして18％の減少（全国平均11％の減少）が見られた。



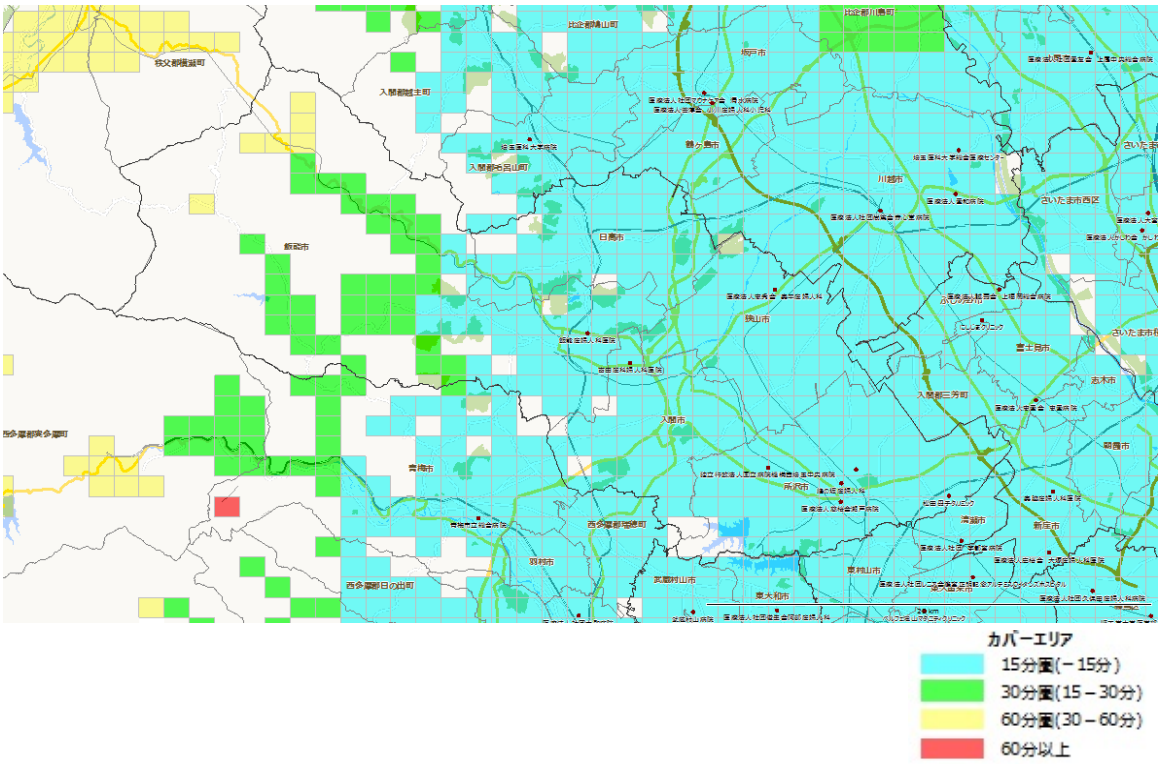
（西部医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

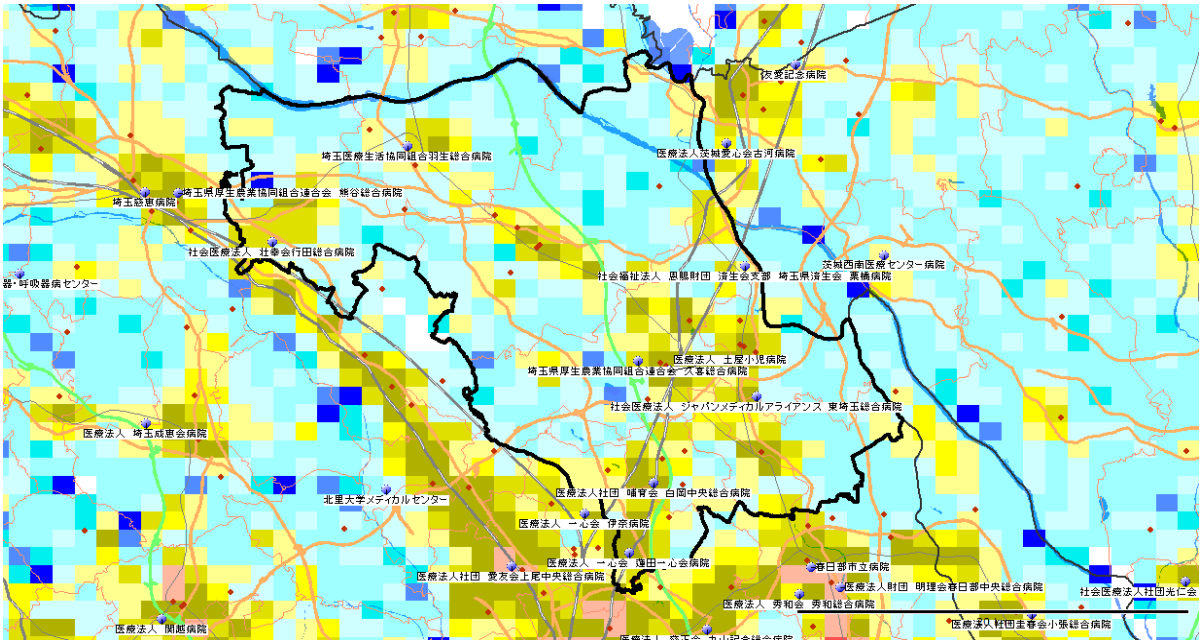


11-8. 利根医療圏（とね）

構成市区町村　行田市　加須市　羽生市　久喜市　蓮田市　幸手市　白岡市　宮代町　杉戸町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（利根医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 利根（行田市）は、総人口約647千人（2015年）、面積474㎢、人口密度は1,365人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 利根の総人口は2025年に606千人へと減少し（2015年比－6％）、2040年に514千人へと減少する（2025年比－15％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の75千人が、2025年にかけて116千人へと増加し（2015年比＋55％）、2040年には116千人とほぼ変わらない（2025年比±0％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 利根の一人当たり医療費（国保）は343千円（偏差値49）、介護給付費は192千円（偏差値33）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 利根の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.58で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が37（病院医師数37、診療所医師数38）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。利根には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新久喜総合病院（Ⅲ群）、500例以上の東埼玉総合病院（Ⅲ群）、蓮田病院（Ⅲ群）、羽生総合病院（Ⅲ群）、行田総合病院（Ⅲ群）、済生会栗橋病院（Ⅲ群）、白岡中央総合病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 利根の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、8,348人（75歳以上1,000人当たりの偏差値54）と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,459床（偏差値59）、高齢者住宅等が2,889床（偏差値47）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、6,058人（75歳以上1,000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設なし（偏差値41）、有料老人ホーム51、軽費ホーム53、グループホーム44、サ高住46である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員（在宅）の合計は、596人（75歳以上1,000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－19％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（利根医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

利根医療圏の総人口は、2005年662,824人が、2015年に647,166人と2%減少し、2025年の人口が606,020人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

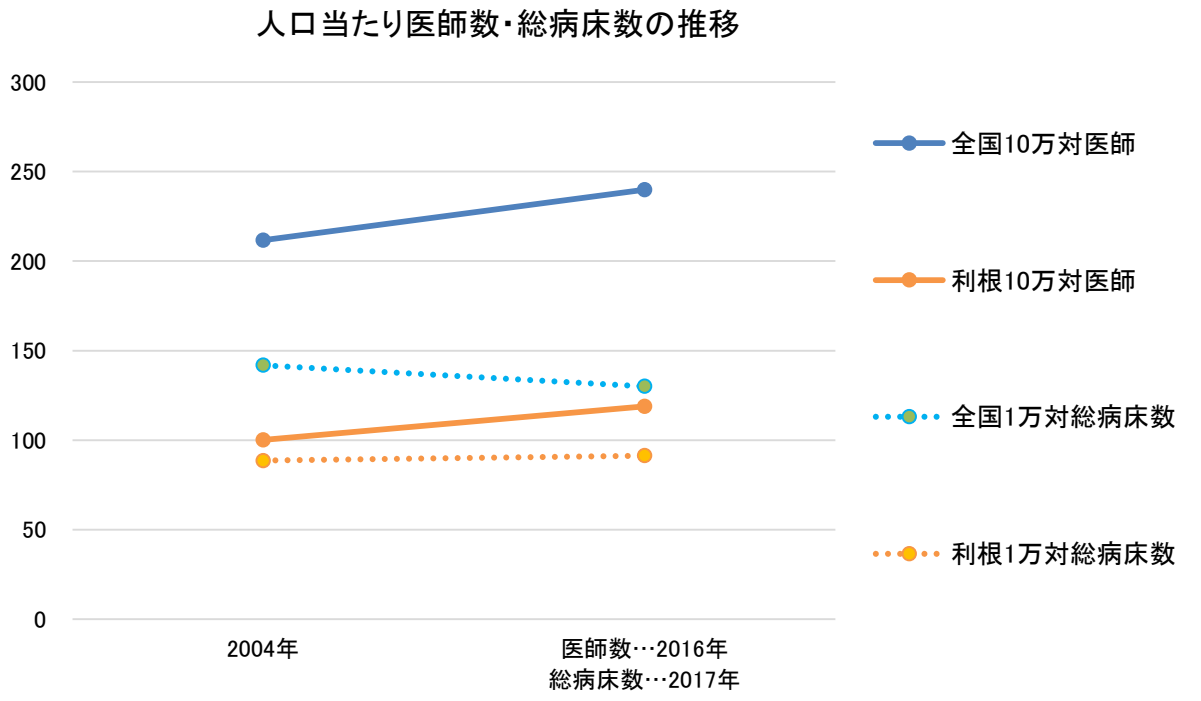
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が34（人口10万人当たり5.1病院（全国平均7.1）偏差値45）であったが、2017年に32（人口10万人当たり4.9病院（全国平均6.6）偏差値46）となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が318（人口10万人当たり48診療所（全国平均76）偏差値36）であったが、2017年に339（人口10万人当たり52診療所（全国平均80）偏差値35）と、21診療所が増加した。

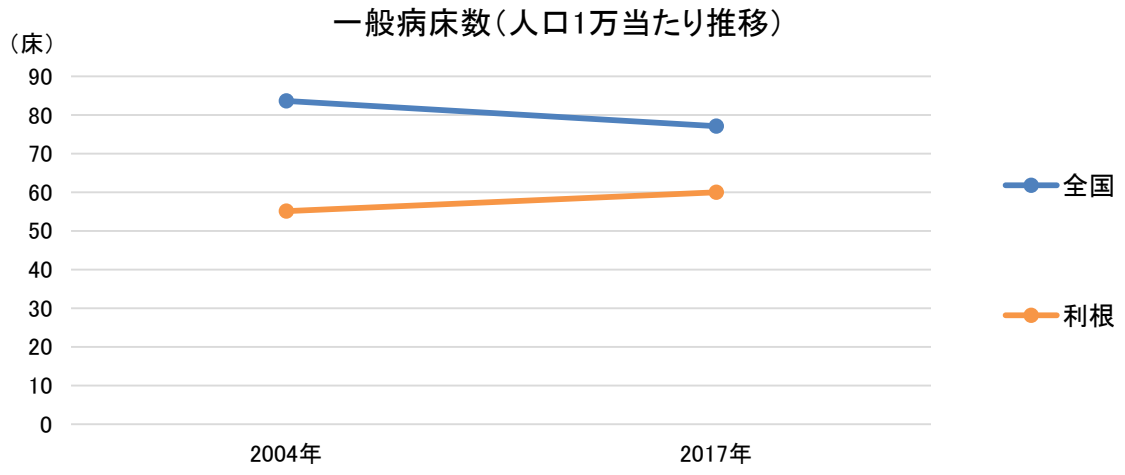
2004年の総病床数が5,870床（人口1万人当たり89（全国平均142）偏差値40）であったが、2017年に5,913床（人口1万人当たり91（全国平均130）偏差値43）と、43床の増加、率にして1%の増加（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が664人（人口10万人当たり100人（全国平均212人）偏差値37）であったが、2016年に769人（人口10万人当たり119人（全国平均240人）偏差値37）と、105人の増加、率にして16%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



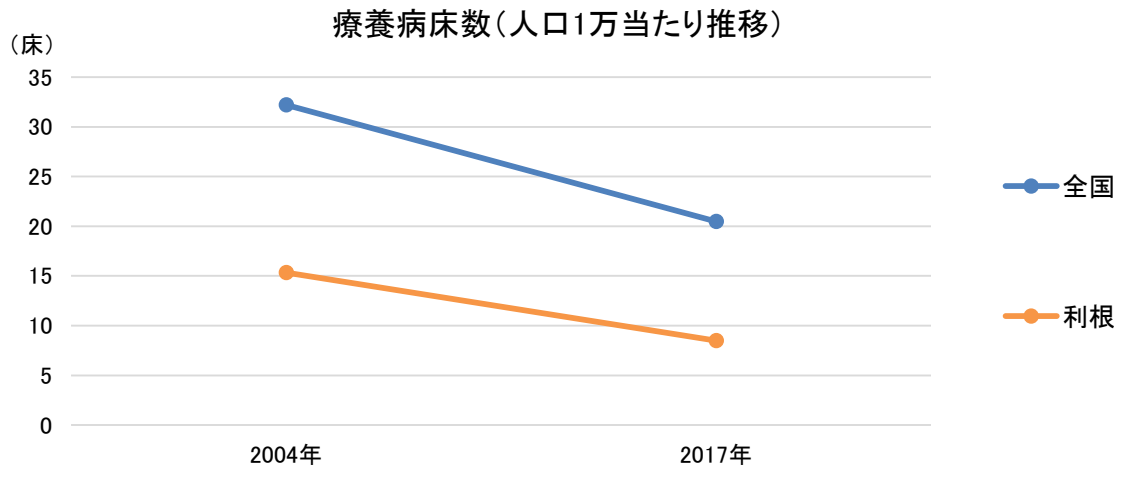
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が3,653床（人口1万人当たり55（全国平均84）偏差値40）であったが、2017年に3,882床（人口1万人当たり60（全国平均77）偏差値43）と、229床の増加、率にして6％の増加（全国平均8％の減少）が見られた。



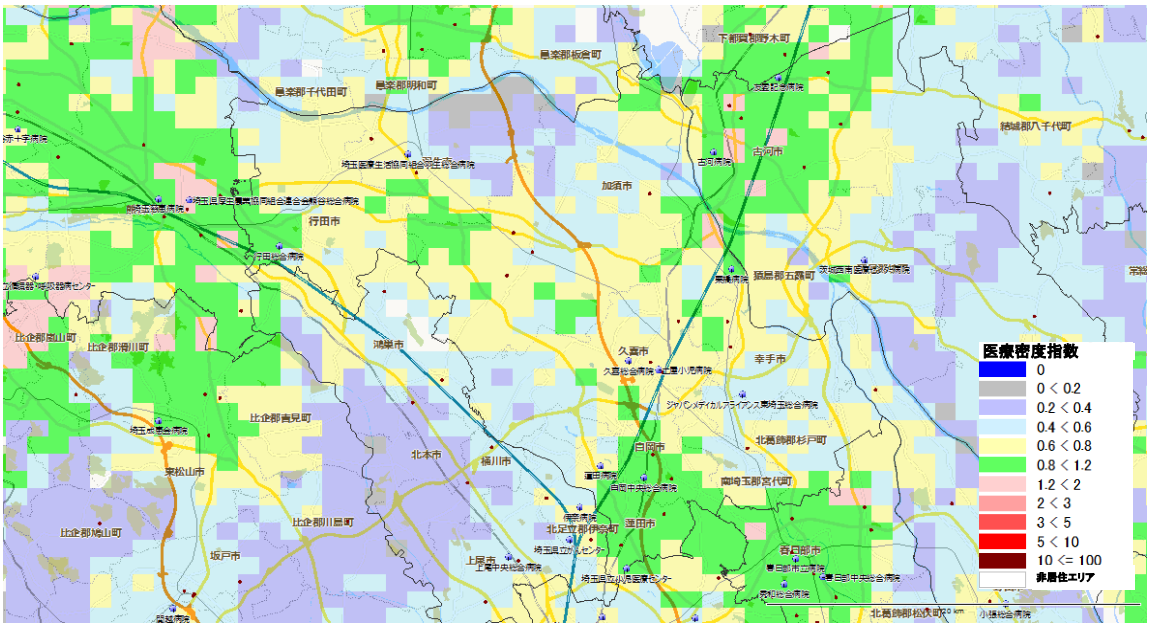
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が742床（75歳以上1,000人当たり15（全国平均32）偏差値40）であったが、2017年に638床（75歳以上1,000人当たり8（全国平均20）偏差値39）と、104床の減少、率にして14％の減少（全国平均11％の減少）が見られた。



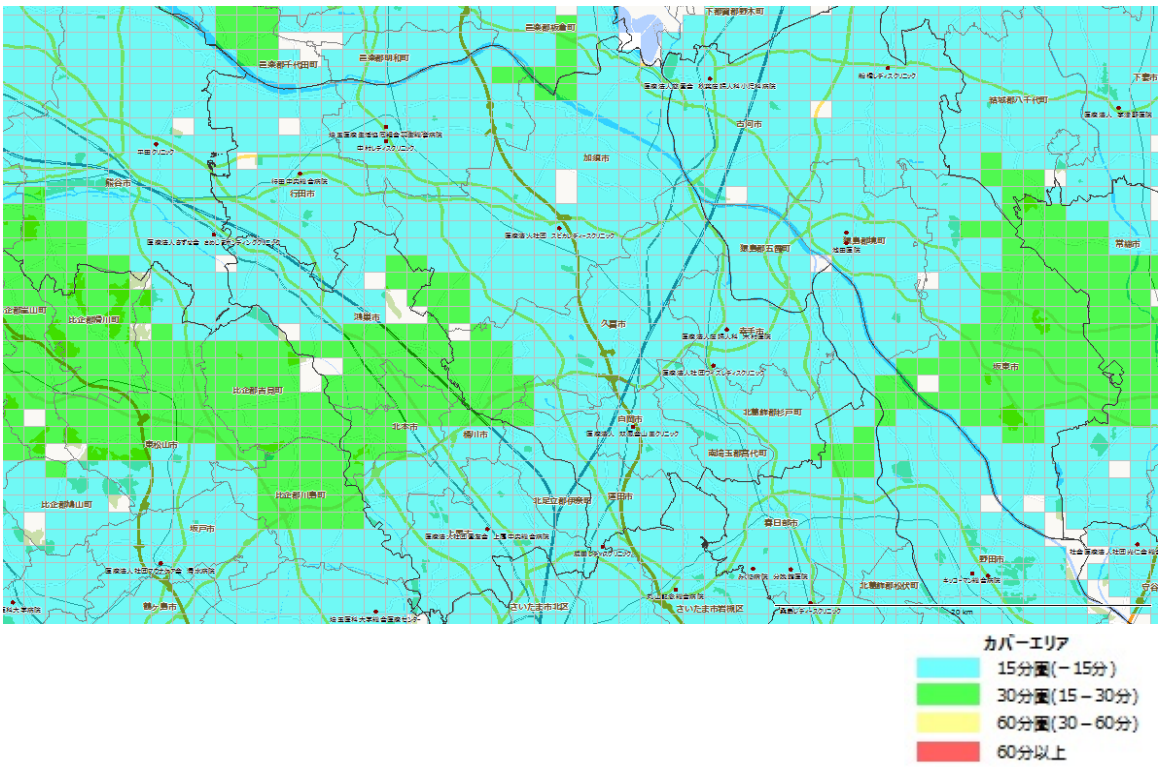
（利根医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

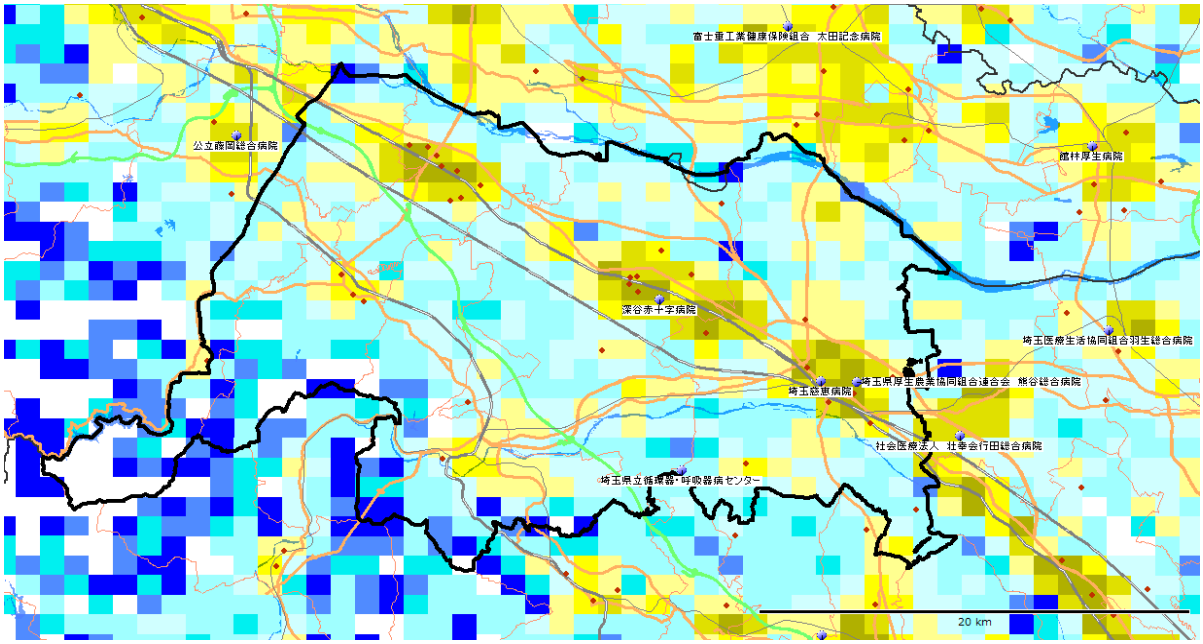


11-9. 北部医療圏（ほくぶ）

構成市区町村　熊谷市　本庄市　深谷市　美里町
神川町　上里町　寄居町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 北部（熊谷市）は、総人口約510千人（2015年）、面積562㎢、人口密度は907人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に479千人へと減少し（2015年比－6％）、2040年に415千人へと減少する（2025年比－13％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて86千人へと増加し（2015年比＋41％）、2040年には90千人へと増加する（2025年比＋5％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費（国保）は331千円（偏差値46）、介護給付費は225千円（偏差値42）であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.77、一人当たり慢性期医療密度指数は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39（病院医師数38、診療所医師数45）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の深谷赤十字病院（Ⅲ群・救命）、熊谷総合病院（Ⅲ群）、500例以上の埼玉県立循環器・呼吸器病センター（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値40と少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、8,124人（75歳以上1,000人当たりの偏差値67）と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,430床（偏差値59）、高齢者住宅等が3,694床（偏差値61）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、5,506人（75歳以上1,000人当たりの偏差値60）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム51、軽費ホーム68、グループホーム51、サ高住68である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員（在宅）の合計は、547人（75歳以上1,000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－5％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

（北部医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年528,034人が、2015年に510,017人と3%減少し、2025年の人口が479,279人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

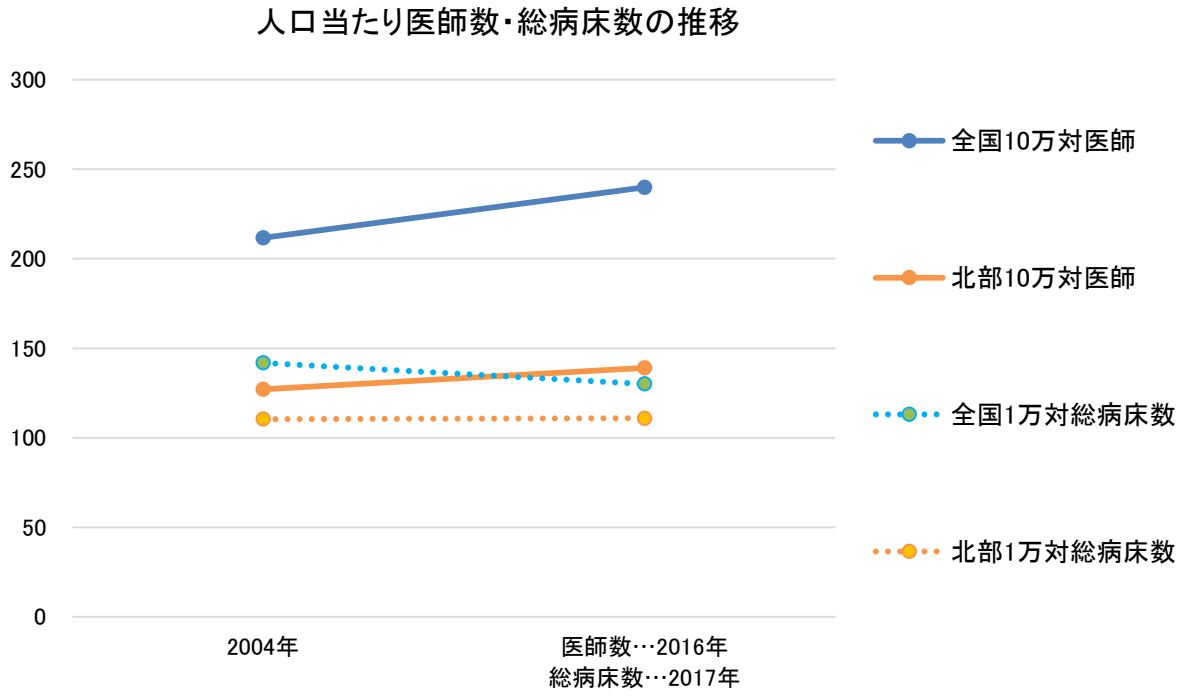
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35（人口10万人当たり6.6病院（全国平均7.1）偏差値49）であったが、2017年に34（人口10万人当たり6.7病院（全国平均6.6）偏差値50）となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が345（人口10万人当たり65診療所（全国平均76）偏差値45）であったが、2017年に360（人口10万人当たり71診療所（全国平均80）偏差値45）と、15診療所が増加した。

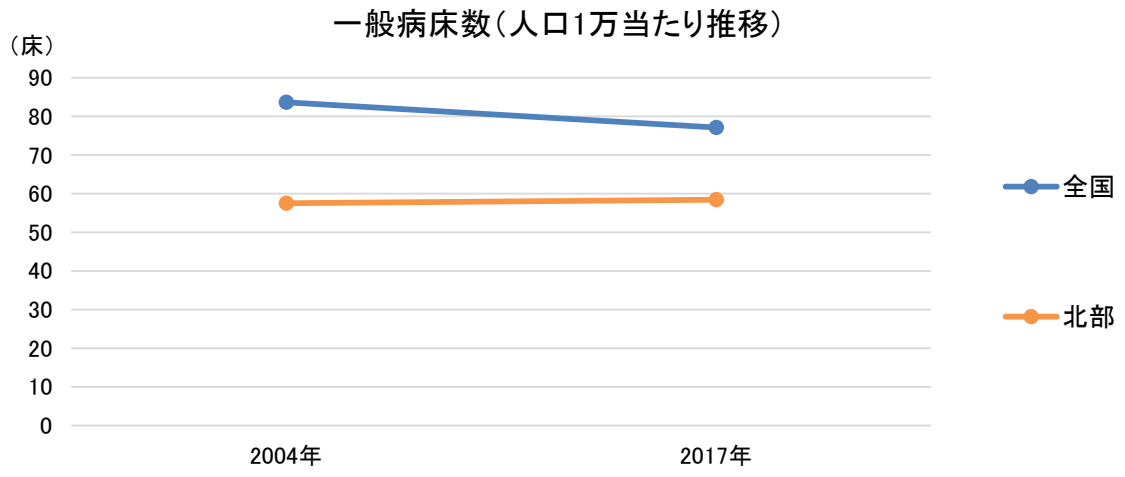
2004年の総病床数が5,833床（人口1万人当たり110（全国平均142）偏差値44）であったが、2017年に5,654床（人口1万人当たり111（全国平均130）偏差値46）と、179床の減少、率にして3%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が671人（人口10万人当たり127人（全国平均212人）偏差値40）であったが、2016年に709人（人口10万人当たり139人（全国平均240人）偏差値39）と、38人の増加、率にして6%の増加（全国平均13%の増加）が見られた。



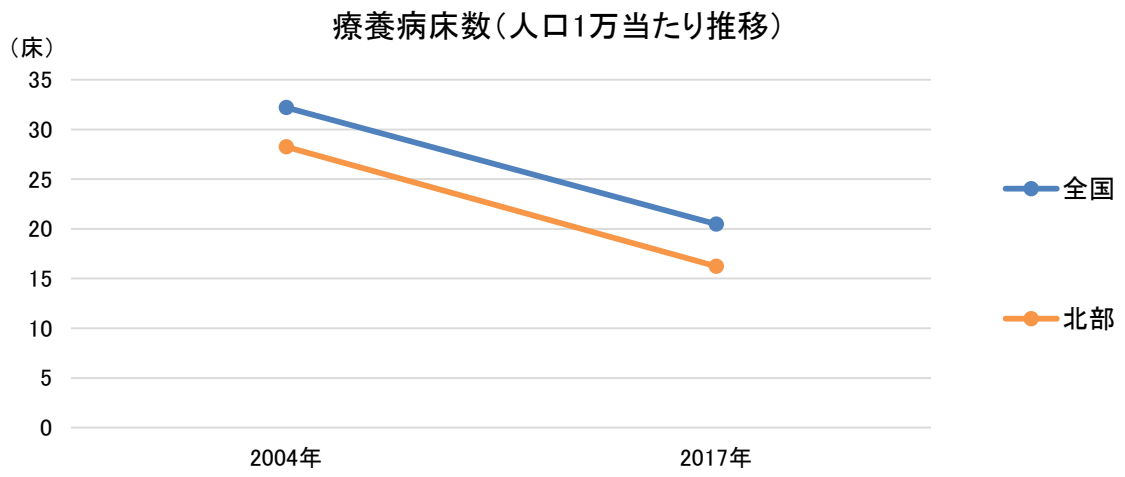
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が3,038床（人口1万人当たり58（全国平均84）偏差値41）であったが、2017年に2,981床（人口1万人当たり58（全国平均77）偏差値43）と、57床の減少、率にして2%の減少（全国平均8%の減少）が見られた。



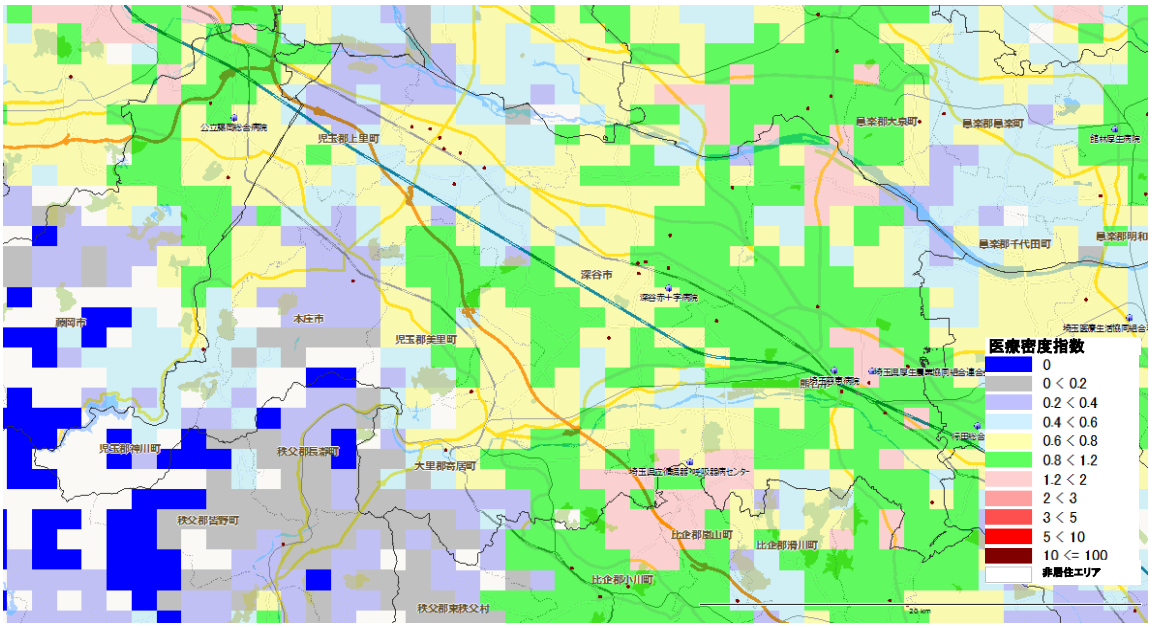
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が1,256床（75歳以上1,000人当たり28（全国平均32）偏差値48）であったが、2017年に996床（75歳以上1,000人当たり16（全国平均20）偏差値46）と、260床の減少、率にして21%の減少（全国平均11%の減少）が見られた。



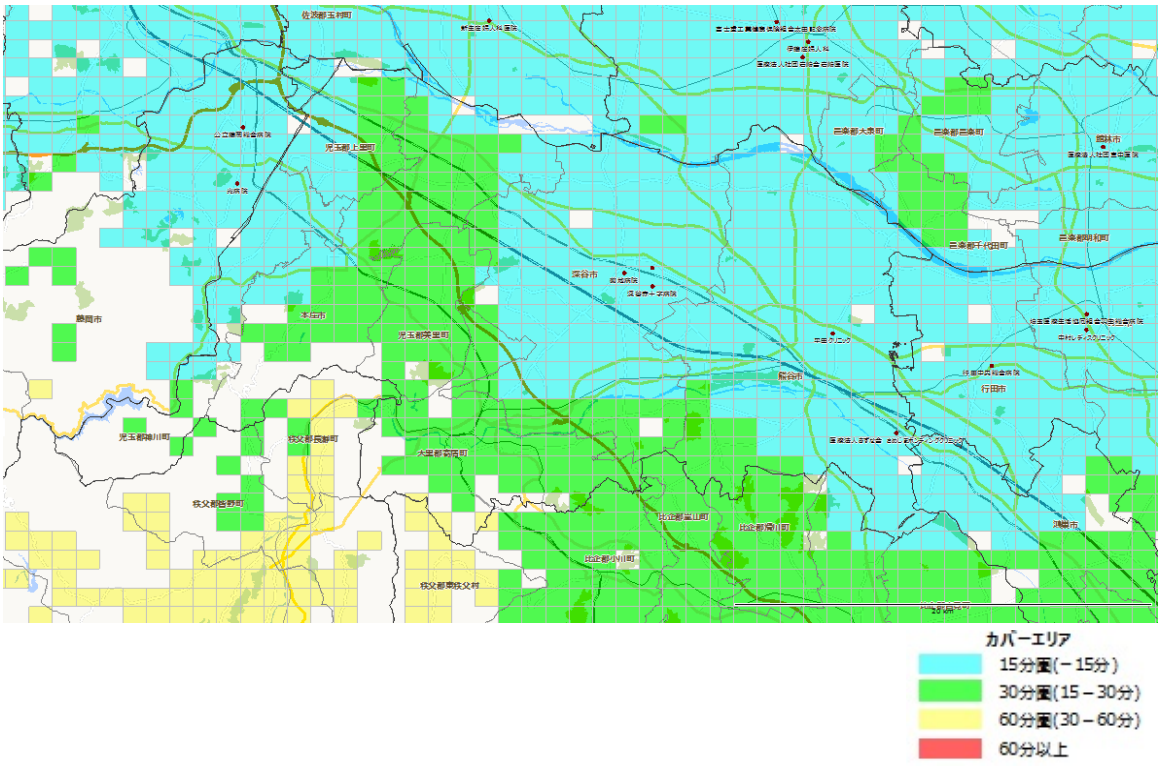
（北部医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-9-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1㎢メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1㎢メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

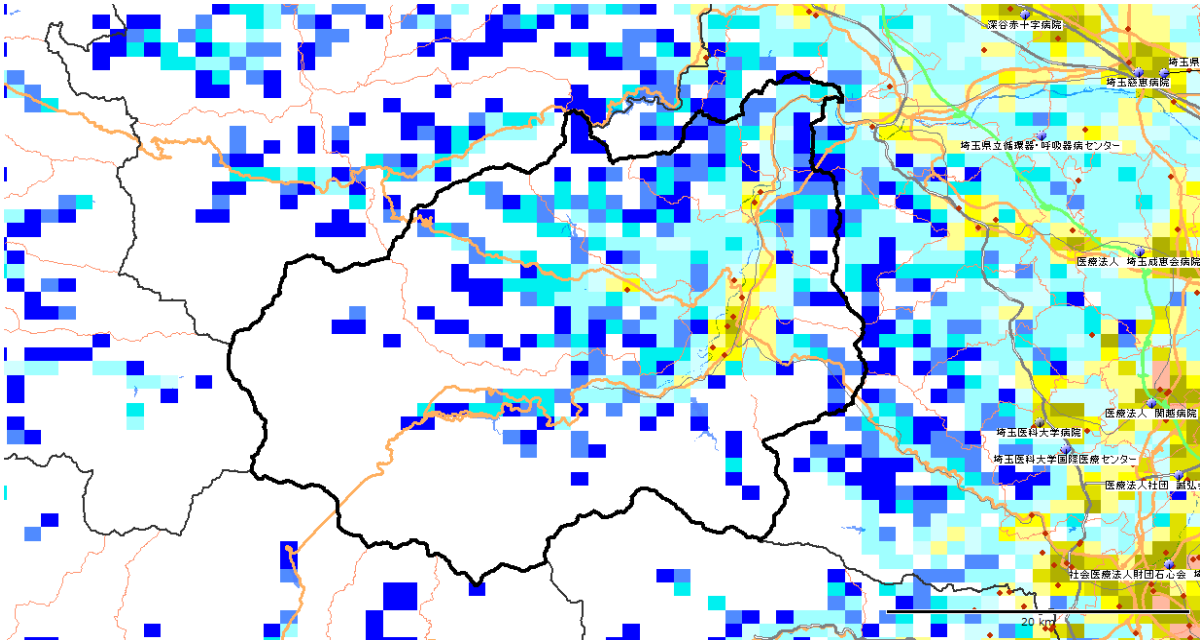


11-10.秩父（ちちぶ）医療圏

構成市区町村　秩父市　横瀬町　皆野町　長瀞町　小鹿野町

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS　Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（秩父医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 秩父（秩父市）は、総人口約102千人（2015年）、面積893㎢、人口密度は114人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 秩父の総人口は2025年に87千人へと減少し（2015年比－15％）、2040年に67千人へと減少する（2025年比－23％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し（2015年比＋6％）、2040年には18千人とほぼ変わらない（2025年比±0％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 秩父の一人当たり医療費（国保）は336千円（偏差値47）、介護給付費は241千円（偏差値47）であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 秩父の一人当たり急性期医療密度指数は0.43、一人当たり慢性期医療密度指数は0.81で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39（病院医師数36、診療所医師数50）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。秩父には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 秩父の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1,816人（75歳以上1,000人当たりの偏差値52）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,306床（偏差値63）、高齢者住宅等が510床（偏差値42）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1,522人（75歳以上1,000人当たりの偏差値60）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム46、軽費ホーム57、グループホーム47、サ高住39である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員（在宅）の合計は、124人（75歳以上1,000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は＋12％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

（秩父医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

秩父医療圏の総人口は、2005年114,596人が、2015年に101,648人と11%減少し、2025年の人口が87,388人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

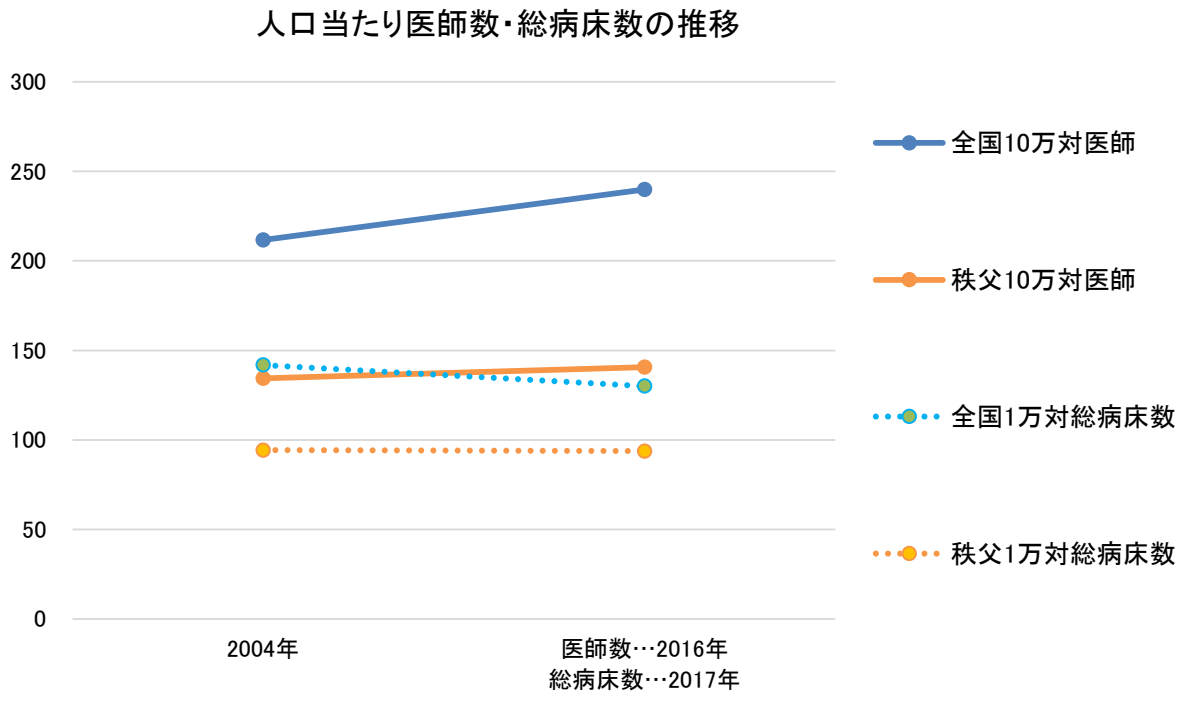
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10（人口10万人当たり8.7病院（全国平均7.1）偏差値54）であったが、2017年に9（人口10万人当たり8.9病院（全国平均6.6）偏差値55）となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が87（人口10万人当たり76診療所（全国平均76）偏差値50）であったが、2017年に82（人口10万人当たり81診療所（全国平均80）偏差値50）と、5診療所が減少した。

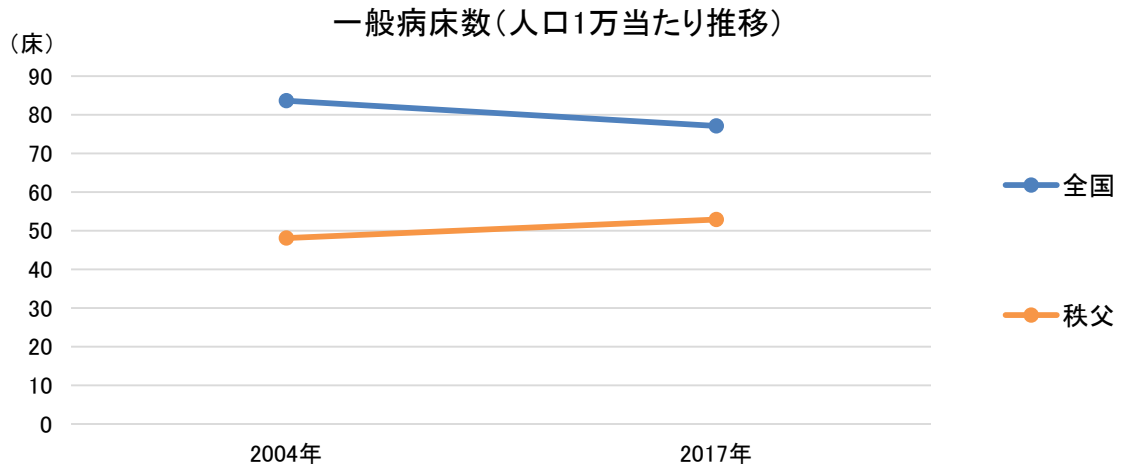
2004年の総病床数が1,081床（人口1万人当たり94（全国平均142）偏差値42）であったが、2017年に953床（人口1万人当たり94（全国平均130）偏差値43）と、128床の減少、率にして12%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が154人（人口10万人当たり134人（全国平均212人）偏差値41）であったが、2016年に143人（人口10万人当たり141人（全国平均240人）偏差値39）と、11人の減少、率にして7%の減少（全国平均13%の増加）が見られた。



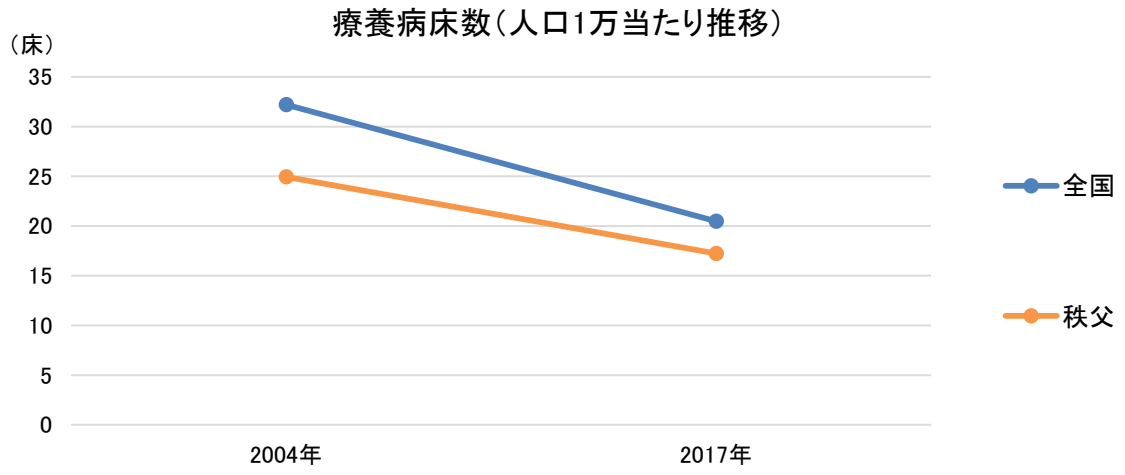
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が551床（人口1万人当たり48（全国平均84）偏差値37）であったが、2017年に538床（人口1万人当たり53（全国平均77）偏差値41）と、13床の減少、率にして2%の減少（全国平均8%の減少）が見られた。



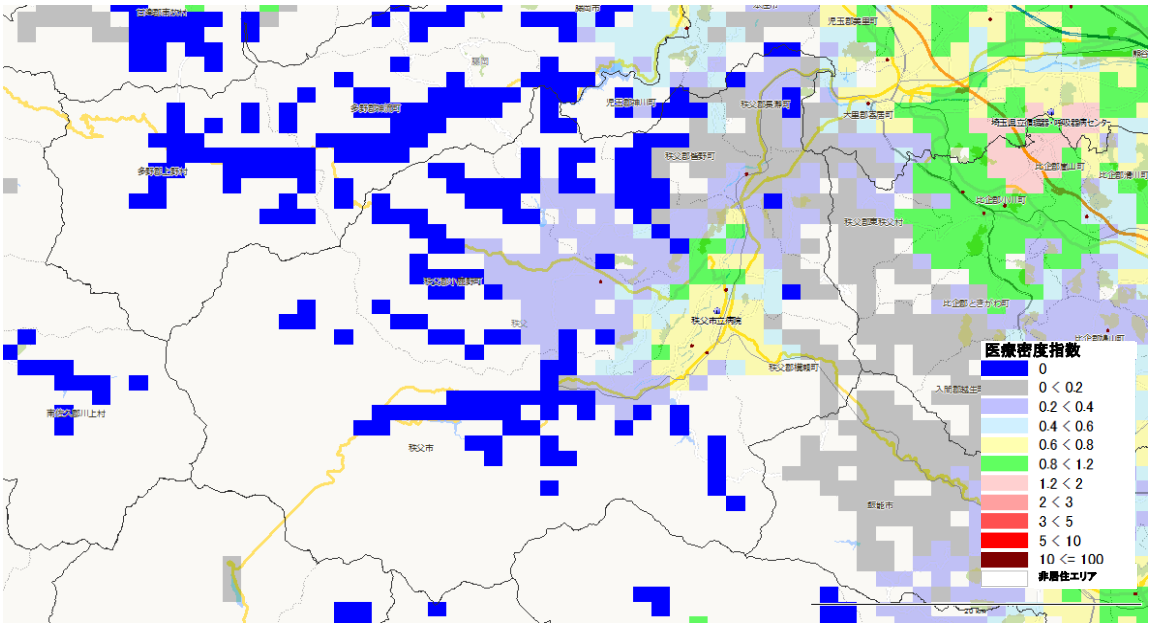
【療養病床の推移】

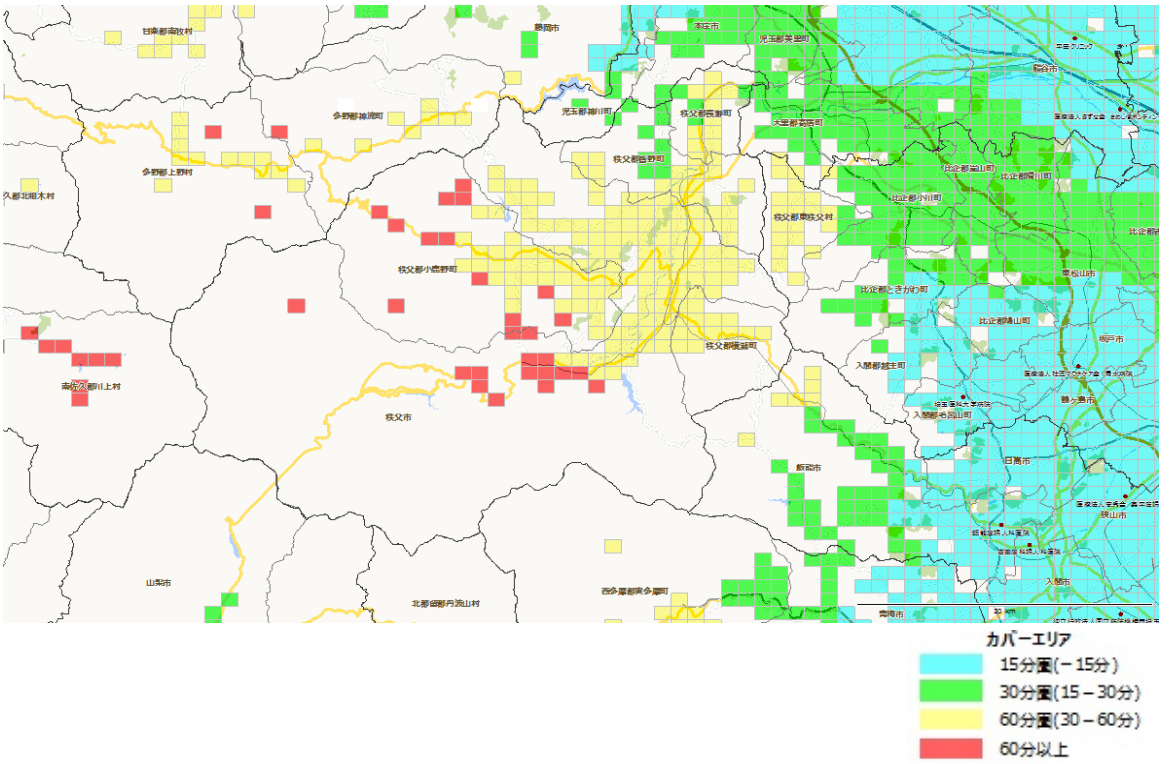
2004年の療養病床（病院＋診療所）が350床（75歳以上1,000人当たり25（全国平均32）偏差値46）であったが、2017年に292床（75歳以上1,000人当たり17（全国平均20）偏差値47）と、58床の減少、率にして17%の減少（全国平均11%の減少）が見られた。



（秩父医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表11-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-10-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））